

令和 8 (2026) 年度

学習院大学大学院 人文科学研究科

募集要項

人文科学研究科

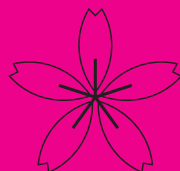
博士前期課程

博士後期課程

- 哲学専攻
- 美術史学専攻
- 史学専攻
- 日本語日本文学専攻
- 英語英米文学専攻
- ドイツ語ドイツ文学専攻
- フランス文学専攻
- 心理学専攻
- 臨床心理学専攻
- 教育学専攻
- アーカイブズ学専攻
- 身体表象文化学専攻

必ずお読みください

本要項の記載内容は変更となる場合があります。最新の情報は本学入試情報ホームページに掲載する「入試制度の変更点」にてお知らせしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください。



学 習 院 大 学

目 次

研究科・専攻・定員	2
令和 8（2026）年度 入学試験日程	3
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3

博士前期課程

秋期入学試験	5 - 12
春期入学試験	13 - 20

博士後期課程	22 - 28
--------	---------

志願票記入例	29
--------	----

参考

納付金	31
寄付金	31
過去の志願者・合格者・入学者数	31
外国送金による入学検定料の振込について	31
入学検定料の返還について	31
在留資格の取得について	31
構内案内図	33

人文科学研究科の概要	35 - 51
------------	---------

研究科・専攻・定員

研 究 科	専 攻	前 期 課 程		後 期 課 程	
		入学定員(名)	収容定員(名)	入学定員(名)	収容定員(名)
人文科学研究科	哲 学 専 攻	10	20	3	9
	美 術 史 学 専 攻	10	20	3	9
	史 学 専 攻	15	30	3	9
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	20	40	3	9
	英 語 英 米 文 学 専 攻	10	20	3	9
	ドイ ツ 語 ドイ ツ 文 学 専 攻	5	10	2	6
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	5	10	2	6
	心 理 学 専 攻	6	12	2	6
	臨 床 心 理 学 専 攻	12	24	3	9
	教 育 学 専 攻	20	40	5	15
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	15	30	3	9
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻	10	20	3	9

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。出願及び入学手続においてご記入いただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、「入学試験の実施」、「合格発表」、「入学手続」及びこれらに付随する業務の処理を行うために利用します。また、統計処理した上記個人情報を、本学における「入学者選抜方法の検討」、「教育改善のための調査・研究」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画）」、「広報活動」及びこれらに付随する業務のための資料として利用します。なお、処理業務の一部は、本学アドミッションセンターより機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

令和 8 (2026) 年度 入学試験日程

博士前期課程

※学内推薦を除きます。

研究科・試験区分		出願期間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日	延納分納入締切日
人文科学	秋 期 (全専攻)	令和7(2025)年 8月14日(木) ～8月18日(月)	筆記9月20日(土) 口述9月20日(土)・21日(日)	9月26日(金)	10月10日(金)	令和8(2026)年 3月6日(金)
	春 期 (全専攻)	令和8(2026)年 1月13日(火) ～1月15日(木)	筆記2月21日(土) 口述2月21日(土)・22日(日)	2月26日(木)	3月6日(金)	

博士後期課程

※学内推薦を除きます。

研究科・試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	延納分納入締切日
人文科学	一 般	令和8(2026)年 1月13日(火) ～1月15日(木)	筆記2月21日(土) 口述2月21日(土)・22日(日)	2月26日(木)	3月6日(金)	

※上記日程は変更となる場合があります。最新の情報は本学入試情報ホームページに掲載する「入試制度の変更点」にてお知らせしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）及び受験前にご確認ください。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、以下の QR コードよりご確認ください。



【博士前期課程】

博士前期課程（秋期入学試験）

① 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員
人文科学研究科	哲 学 専 攻	約 4 名
	美 術 史 学 専 攻	約 5 名
	史 学 専 攻	約 8 名
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	約 10 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	約 5 名
	ド イ ツ 語 ド イ ツ 文 学 専 攻	約 2 名
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	約 2 名
	心 理 学 専 攻	約 4 名
	臨 床 心 理 学 専 攻	約 9 名
	教 育 学 専 攻	約 10 名
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	約 8 名
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻	約 5 名

② 出願資格

1. 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）から（9）までのいずれかに該当する者
 - （1）独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - （2）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （4）日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （5）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（4）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - （6）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （7）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - （8）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達するもの

※最終学歴が中国の大学の専科（3年制）の場合には、出願資格がありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は、出願を認めます。

[注意事項]

- 上記出願資格2(3)、(5)、(8)又は(9)で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、下記の期間に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、入学志願票、成績証明書、卒業証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

出願資格認定審査受付期間 令和7（2025）年7月15日（火）～7月17日（木）

本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/>

- 上記の有資格者で、現在就業中の者が入学後に職業を継続することは、学業に差支えない限り、これを妨げません。

③ 選考方法

入学者の選考は、筆記試験、口述試験、出身校の学業成績によって決定します。

④ 試験日及び試験科目

筆記試験 9月20日（土）－西2号館で実施

口述試験 9月20日（土）又は21日（日）－西2号館、北2号館、北1号館で実施

9月20日（土）に口述試験が終了した場合、9月21日（日）の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

専攻	月 日		9月20日（土）				9月21日（日）
			9:00～10:00	10:20～12:20	13:10～14:10	15:00～	10:00～
哲 学 専 攻	哲学史及び思想史			外国語原書読解 (注1) 英・独・仏・古典 ギリシア語・古典 ラテン語・漢文・ (日)のうちから 2科目	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
美 術 史 学 専 攻	美術史		9:00～10:00	10:20～11:50	13:10～14:10	15:00～	10:00～
				外国語原書読解 (注1) 英語(60分)及び 独・仏・伊・漢文・ (日)のうちから1 科目(30分)	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
史 学 専 攻	外国語(注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語		9:00～10:00	10:20～12:20	14:00～		
				日本史・東洋史・ 西洋史(以上のう ちから1科目)	口 述 試 験		

月 日 専 攻	9月20日(土)				9月21日(日)
日 本 語 日 本 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~		
	外国語(注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語	日本語学・日本文 学	口 述 試 験		
英 語 英 米 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~11:50	13:00~		
	英語	分野別基礎知識・ 論文(注5)	口 述 試 験		
ドイツ語ドイツ 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	14:00~		
	外国語(注4) 英・仏のうちか ら1言語	ドイツ語及び 専門知識	口 述 試 験		
フ ラ ン ス 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~		
	外国語(注4) 英・独のうちか ら1言語	仏文学・仏語学・ 仏文読解	口 述 試 験		
心 理 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:30~		
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	心 理 学	口 述 試 験		
臨床心理学専攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~14:10	15:00~	
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	臨床心理学Ⅰ	臨床心理学Ⅱ	口 述 試 験	
教 育 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~14:10	15:00~	
	教育学専門Ⅰ (基礎知識)	教育学専門Ⅱ (小論文)	外国語原書読解 (注2) 英・(日)のう ちから1言語	口 述 試 験	
アーカイブズ学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20			10:00~
	外国語(注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語	アーカイブズ学に 関する基本知識・ 論文			口 述 試 験
身体表象文化学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20			10:00~
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	選択した領域に関 する論文(注6)			口 述 試 験

※外国人受験生(外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者)の外国語原書読解・外国語試験について

●外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として、母語を選ぶことはできません。

●哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については、英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊、持ち込むことができます(電子辞書は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。

2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上(いずれも非常勤を含む、通算可)の者は、辞書を持ち込むことができます。(電子辞書、携帯電話は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書(所定の書式)を添付して資格の判定を申請してください。

3. 上記1.の哲学専攻・美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については、辞書の使用を認めません。ただし、上記2.において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。
4. ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。
5. i 英語圏の文学・文化、ii 英語学の2分野から1つを選択します。なお、iの「英語圏」は広い地域にわたるため、設問中から選択し解答します。iiにおいても、設問中から選択し解答します。
6. 選択する領域は、i 舞台芸術、ii 映像芸術、iii マンガ・アニメーション芸術、iv ジェンダー表象のいずれか1つとします。

[受験上の注意]

1. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
3. 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。
4. 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を持って試験本部に申し出てください。
5. 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器を時計として使用することは禁止します。
6. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
7. 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
8. 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

⑤ 出願手続

1. 出願期間 令和7（2025）年8月14日（木）～8月18日（月）

2. 出願方法

出願者は、入学検定料35,000円を振込のうえ（「4. 入学検定料について」参照）、出願書類（「3. 出願書類」参照）を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に、8月18日（月）までに必着で送付してください。

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外の提出不可、8月16日（土）、17日（日）は窓口閉室となります。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形2号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付して提出してください。

②論文（卒業論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封してください。

③②が各自用意した封筒（角形2号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してください。

3. 出願書類

本学の卒業生及び卒業見込者は、出願時に（5）の書類を必要としません。

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、35 頁以降の「人文科学研究科の概要」等を参照してください。

(2) 写真票（本学所定の用紙、A4 サイズ）

※写真 1 枚（3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。縦 4cm × 横 3cm。写真票に貼付してください）

※受験時に本人と確認できない場合は、身分証明書等で本人確認を行います。

※出願書類の内容を確認し次第、後日受験票を送付します。この本学からの受験票の発送をもちまして、出願書類の受理通知となります。

なお、出願書類を提出してから 9 月 12 日（金）までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問合せてください。

(3) 成績証明書（学部）

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

(4) 入学後の研究計画書（本学所定の用紙。史学専攻については専攻所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード）

(5) 卒業証明書又は卒業見込証明書（学部）

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

(6) 外国人志願者の場合は①住民票（居住する地方公共団体が発行したもの）、又は②パスポートのコピー、のいずれか

(7) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）

(8) 入学検定料振込金受取書（提出用）

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(9) 論文（卒業論文）〔本人宛名明記の封筒に入れてください（切手の貼付不要）。口述試験後返却します。〕

i) 哲学専攻、美術史学専攻、英語英米文学専攻、フランス文学専攻、心理学専攻、臨床心理学専攻、アーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻については、論文（卒業論文又はそれに代わる論文）がある場合には、論文又はその写し 1 部を提出してください。

ii) 史学専攻、日本語日本文学専攻、ドイツ語ドイツ文学専攻、教育学専攻については、論文の提出を必要としません。

	哲	美	史	日	英	ド	フ	心	臨	教	ア	身
i) あれば提出	○	○			○		○	○	○		○	○
ii) 不要			○	○		○				○		

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

4. 入学検定料について（35,000 円、銀行振込期間：8 月 1 日（金）～8 月 18 日（月））

イ. 本学所定の振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。期間外は取り扱いません。なお、りそな銀行本・支店からの場合、手数料は無料です。また、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません（現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は使用しないでください）。

ロ. 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の

対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（31 頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので、あらかじめご承知おきください。

また、振込手数料については、返還することができません。

ハ. 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合には、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31 頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスキャンデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを出願書類と一緒に提出してください。

また、受験に際しての渡航にあたり「受験許可証」が必要な場合も本学アドミッションセンターにご相談ください。

[注意事項]

(1) 受験特別配慮について

身体機能の障がいにより、受験及び就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願照会期間の最終日までに必ず本学アドミッションセンターにお問合せください。

申請手順の詳細は、以下のホームページよりご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/consideration/>



(2) 日本国外からの出願について

出願期間前までに、必ず本学アドミッションセンターにご相談ください。

(3) 外国籍の方の氏名について

外国籍の方は、氏名をアルファベット表記及びカナ氏名のみ使用します。アルファベット表記は在留カード及びパスポートの綴りと同一にしてください。カナ氏名は本国での読み方とします。ただし、特別永住者はこの限りではありません。

(4) 出願書類について

- ・ 出願手続後は、いかなる理由があっても、出願書類に記載した事項の一切の変更は認めません。
- ・ 出願手続時提出書類（パスポートを除く）は、原本での提出を必須とします。

なお、原本が 1 部しかない等の理由で提出できない場合は、下記 a、b いずれかの方法によって原本証明をしたコピーの提出を認めます。

- a. 原本を在籍大学等に持参し、コピーを取ってもらい、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（コピーの余白等に「原本と相違ないことを証明する」旨を記入（ゴム印等の使用可。消せるインクの使用不可）のうえ、在籍大学等の印又は在籍大学長等の印を押印）。
- b. 原本を本学アドミッションセンターに持参し、アドミッションセンター職員がコピーを取り、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（本学アドミッションセンターの証明印を押印）。

(5) 健康診断書について

出願にあたって健康診断書の提出は必要としません。ただし、入学後に本学で実施する健康診断は、必ず受けてください。

⑥ 合格発表

令和 7（2025）年 9 月 26 日（金）10：00

1. 本学入試情報ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>）に合格者の受験番号一覧を掲載します。また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。

※発表日を含め 3 日経っても未着の場合は、本学アドミッションセンターまで必ず問合せください。

2. 合否に関する問合せには、一切応じません。

7 入学手続

1. 入学手続締切日 令和 7 (2025) 年 10 月 10 日 (金) 締切日消印有効

2. 入学手続方法

入学手続方法の詳細については、合格者に案内する「入学手続要項」に従ってください。

合格者は、入学手続締切日までに入学金及び授業料その他の納付金を、原則として一括納入（銀行振込）した後、「令和 8 (2026) 年度学習院大学入学手続書類」を郵送（締切日消印有効）して入学手続を完了してください。入学手続締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

ただし、入学金以外の授業料その他の納付金の納入は、令和 8 (2026) 年 3 月 6 日 (金) まで延納を認めています。

3. 入学手続時納付金

令和 8 (2026) 年度入学者の納付金は、現在未定のため、入学手続要項に記載いたします。なお、参考までに 31 頁をご確認ください。

4. 卒業証明書

大学を卒業（修了）見込で受験した者（本学含む）は、卒業後、「卒業証明書」を令和 8 (2026) 年 3 月 27 日 (金) までに本学アドミッションセンター宛に郵送してください。その際、下記の内容を朱書してください。

卒業証明書の右上の余白に、入学研究科・専攻・カナ氏名を明記してください（大学で封がされている場合は、開封して記入してください。厳封の必要はありません）。

5. 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、令和 8 (2026) 年 3 月 31 日 (火) 16:00 までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料その他の納付金）を返還します。

[注意事項]

入学手続後は、提出した書類の返却には一切応じません。

8 入学時期

令和 8 (2026) 年 4 月 1 日 (水)

ただし、出願に際し、出願資格が卒業（修了）見込の資格で受験し、合格した者が、令和 8 (2026) 年 3 月 31 日 (火) までに、資格を取得（卒業・学位など）できなかった場合、入学許可を取り消します。

奨学金・研究費

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては 5 万円、博士後期課程においては 20 万円を申請者全員に研究費として給付しています。

臨床心理学専攻

臨床心理士受験資格について

従来どおり臨床心理士養成指定大学院として必要単位数を履修することで、臨床心理士受験資格が得られます（臨床心理士受験においては、学部での履修科目は関係ありません）。

公認心理師受験資格対応について

心理学分野の国家資格である公認心理師法が 2017 年 9 月に施行されました。

それに伴い学習院大学人文科学研究科臨床心理学専攻博士前期課程では、2018 年度から大学院における公認心理師受験資格を満たす 10 科目を開設しており、公認心理師受験資格カリキュラムにも対応しています。

なお、公認心理師受験資格を得るためには、本学臨床心理学専攻博士前期課程入学以前に、学部において所定の科目を履修し卒業していることが必要です。所定科目の履修状況については、出身大学に問合せてください。

博士前期課程（春期入学試験）

① 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員
人文科学研究科	哲 学 専 攻	約 6 名
	美 術 史 学 専 攻	約 5 名
	史 学 専 攻	約 7 名
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	約 10 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	約 5 名
	ド イ ツ 語 ド イ ツ 文 学 専 攻	約 3 名
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	約 3 名
	心 理 学 専 攻	約 2 名
	臨 床 心 理 学 専 攻	約 3 名
	教 育 学 専 攻	約 10 名
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	約 7 名
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻	約 5 名

② 出願資格

1. 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
2. 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）から（9）までのいずれかに該当する者
 - （1）独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - （2）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （4）日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （5）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（4）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - （6）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - （7）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
 - （8）学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院に

おける教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達するもの

※最終学歴が中国の大学の専科（3 年制）の場合には、出願資格がありません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は、出願を認めます。

[注意事項]

1. 上記出願資格 2 (3)、(5)、(8) 又は (9) で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、下記の期間に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、入学志願票、成績証明書、卒業証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（学士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

出願資格認定審査受付期間 令和 7 (2025) 年 11 月 26 日 (水) ～ 11 月 28 日 (金)

本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/>

2. 上記の有資格者で、現在就業中の者が入学後に職業を継続することは、学業に差支えない限り、これを妨げません。

③ 選考方法

入学者の選考は、筆記試験、口述試験、出身校の学業成績によって決定します。

④ 試験日及び試験科目

筆記試験 2 月 21 日 (土) ー西 2 号館で実施

口述試験 2 月 21 日 (土) 又は 22 日 (日) ー西 2 号館、北 2 号館、北 1 号館で実施

2 月 21 日 (土) に口述試験が終了した場合、2 月 22 日 (日) の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

月 日		2 月 21 日 (土)				2 月 22 日 (日)
専 攻		9：00～10：00	10：20～12：20	13：10～14：10	15：00～	10：00～
哲 学 専 攻	哲学史及び思想史		外国語原書読解 (注1)	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
		英・独・仏・古典 ギリシア語・古典 ラテン語・漢文・ (日)のうちから 2科目				
美術史学専攻	美術史	9：00～10：00	10：20～11：50	13：10～14：10	15：00～	10：00～
			外国語原書読解 (注1) 英語 (60分) 及び 独・仏・伊・漢文・ (日)のうちから1 科目 (30分)	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
史 学 専 攻	外国語 (注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語	9：00～10：00	10：20～12：20	14：00～		
			日本史・東洋史・ 西洋史 (以上のう ちから1科目)	口 述 試 験		

月 日		2月21日(土)			2月22日(日)
専 攻					
日 本 語 日 本 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:30~			
	外国語(注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語	口 述 試 験			
英 語 英 米 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~11:50	13:00~		
	英語	分野別基礎知識・ 論文(注5)	口 述 試 験		
ドイツ語ドイツ 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	14:00~		
	外国語(注4) 英・仏のうちか ら1言語	ドイツ語及び専門 知識	口 述 試 験		
フ ラ ン ス 文 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~		
	外国語(注4) 英・独のうちか ら1言語	仏文学・仏語学・ 仏文読解	口 述 試 験		
心 理 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:30~		
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	心 理 学	口 述 試 験		
臨床心理学専攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~14:10	15:00~	
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	臨床心理学Ⅰ	臨床心理学Ⅱ	口 述 試 験	
教 育 学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20	13:10~14:10	15:00~	
	教育学専門Ⅰ (基礎知識)	教育学専門Ⅱ (小論文)	外国語原書読解 (注2) 英・(日)のう ちから1言語	口 述 試 験	
アーカイブズ学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20			10:00~
	外国語(注4) 英・独・仏・中・ (日)のうちから 1言語	アーカイブズ学に 関する基本知識・ 論文			口 述 試 験
身体表象文化学 専 攻	9:00~10:00	10:20~12:20			10:00~
	外国語(注4) 英・独・仏のう ちから1言語	選択した領域に関 する論文(注6)			口 述 試 験

※外国人受験生(外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者)の外国語原書読解・外国語試験について

●外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として、母語を選ぶことはできません。

●哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については、英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊、持ち込むことができます(電子辞書は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。

2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上(いずれも非常勤を含む、通算可)の者は、辞書を持ち込むことができます。(電子辞書、携帯電話は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書(所定の書式)を添付して資格の判定を申請してください。

- 上記1.の哲学専攻・美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については、辞書の使用を認めません。ただし、上記2.において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。
- ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。
- i 英語圏の文学・文化、ii 英語学の2分野から1つを選択します。なお、iの「英語圏」は広い地域にわたるため、設問中から選択し解答します。iiにおいても、設問中から選択し解答します。
- 選択する領域は、i 舞台芸術、ii 映像芸術、iii マンガ・アニメーション芸術、iv ジェンダー表象のいずれか1つとします。

[受験上の注意]

- 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
- 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。
- 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を持って試験本部に申し出てください。
- 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器を時計として使用することは禁止します。
- 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
- 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
- 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

5 出願手続

- 出願期間 令和8（2026）年1月13日（火）～1月15日（木）

2. 出願方法

出願者は、入学検定料35,000円を振込のうえ（「4. 入学検定料について」参照）、出願書類（「3. 出願書類」参照）を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に、1月15日（木）までに必着で送付してください。

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外の提出不可。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形2号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付して提出してください。

②論文（卒業論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封してください。

③②が各自用意した封筒（角形2号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してください。

3. 出願書類

本学の卒業生及び卒業見込者は、出願時に（5）の書類を必要としません。

- (1) 入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、35頁以降の「人文科学研究科の概要」等

を参照してください。

(2) 写真票 (本学所定の用紙、A4 サイズ)

※写真 1 枚 (3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像 (顔等) を加工しておらず、受験時に本人と確認できるもの。縦 4cm × 横 3cm。写真票に貼付してください)

※受験時に本人と確認できない場合は、身分証明書等で本人確認を行います。

※出願書類の内容を確認し次第、後日受験票を送付します。この本学からの受験票の発送をもちまして、出願書類の受理通知となります。

なお、出願書類を提出してから 2 月 13 日 (金) までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問合せください。

(3) 成績証明書 (学部)

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください (原本も必ず提出してください)。

(4) 入学後の研究計画書 (本学所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード)

(5) 卒業証明書又は卒業見込証明書 (学部)

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位 (学士) が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください (原本も必ず提出してください)。

(6) 外国人志願者の場合は①住民票 (居住する地方公共団体が発行したもの)、又は②パスポートのコピー、のいずれか

(7) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類 (戸籍抄本等)

(8) 入学検定料振込金受取書 (提出用)

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(9) 論文 (卒業論文) [本人宛名明記の封筒に入れてください (切手の貼付不要)。口述試験後返却します。]

i) 哲学専攻、美術史学専攻、史学専攻については、論文 (卒業論文又はそれに代わる論文) 又はその写し 1 部を提出してください。出身大学で卒業論文を課されていない場合であっても、論文の提出は必要です。

ii) 日本語日本文学専攻については、論文 (卒業論文又はそれに代わる 4000 字以上の論文) 又はその写し 1 部を提出してください。出身大学で卒業論文を課されていない場合であっても、論文の提出は必要です。なお、卒業論文が大学院での研究テーマ (日本文学・日本語学・日本語教育・日本文化・言語学等) と大きく異なる場合 (例えば、心理学や経済学) は、予定する研究テーマに即した内容の論文を、卒業論文に代わるものとして提出することが望まれます。

iii) 英語英米文学専攻、ドイツ語ドイツ文学専攻、フランス文学専攻、心理学専攻、臨床心理学専攻、アーカイブズ学専攻、身体表象文化学専攻については、論文 (卒業論文又はそれに代わる論文) がある場合は、論文又はその写し 1 部を提出してください。

iv) 教育学専攻については、論文の提出を必要としません。

	哲	美	史	日	英	ド	フ	心	臨	教	ア	身
i) ii) 必須	○	○	○	○								
iii) あれば提出					○	○	○	○	○		○	○

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

※本学卒業見込者で卒業論文を 12 月に提出した者は、改めて論文を提出する必要はありません。

ただし、本学卒業者又は卒業見込者であっても在籍する学科と異なる専攻に出願する場合には、

上記の定めに従って論文（卒業論文又はそれに代わる論文）を提出する必要があります。

4. 入学検定料について（35,000 円、銀行振込期間：1 月 5 日（月）～1 月 15 日（木））

イ. 本学所定の振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。期間外は取り扱いません。なお、りそな銀行本・支店からの場合、手数料は無料です。また、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。（現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は使用しないでください）

ロ. 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（31 頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので、あらかじめご承知おきください。

また、振込手数料については、返還することができません。

ハ. 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合には、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31 頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスクランデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを出願書類と一緒に提出してください。

また、受験に際しての渡航にあたり「受験許可証」が必要な場合も本学アドミッションセンターにご相談ください。

[注意事項]

(1) 受験特別配慮について

身体機能の障がいにより、受験及び就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願照会期間の最終日までに必ず本学アドミッションセンターにお問合せください。

申請手順の詳細は、以下のホームページよりご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/consideration/>



(2) 日本国外からの出願について

出願期間前までに、必ず本学アドミッションセンターにご相談ください。

(3) 外国籍の方の氏名について

外国籍の方は、氏名をアルファベット表記及びカナ氏名のみ使用します。アルファベット表記は在留カード及びパスポートの綴りと同一にしてください。カナ氏名は本国での読み方とします。ただし、特別永住者はこの限りではありません。

(4) 出願書類について

・出願手続後は、いかなる理由があっても、出願書類に記載した事項の一切の変更は認めません。

・出願手続時提出書類（パスポートを除く）は、原本での提出を必須とします。

なお、原本が 1 部しかない等の理由で提出できない場合は、下記 a、b いずれかの方法によって原本証明をしたコピーの提出を認めます。

a. 原本を在籍大学等に持参し、コピーを取ってもらい、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（コピーの余白等に「原本と相違ないことを証明する」旨を記入（ゴム印等の使用可。消せるインクの使用不可）のうえ、在籍大学等の印又は在籍大学長等の印を押印）。

b. 原本を本学アドミッションセンターに持参し、アドミッションセンター職員がコピーを取り、コ

ピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（本学アドミッションセンターの証明印を押印）。

(5) 健康診断書について

出願にあたって健康診断書の提出は必要としません。ただし、入学後に本学で実施する健康診断は、必ず受けてください。

⑥ 合格発表

令和 8（2026）年 2 月 26 日（木）10：00

1. 本学入試情報ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>）に合格者の受験番号一覧を掲載します。また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。

※発表日を含め 3 日経っても未着の場合は、本学アドミッションセンターまで必ず問合せてください。

2. 可否に関する問合せには、一切応じません。

⑦ 入学手続

1. 入学手続締切日 令和 8（2026）年 3 月 6 日（金）締切日消印有効

2. 入学手続方法

入学手続方法の詳細については、合格者に案内する「入学手続要項」に従ってください。

合格者は、入学手続締切日までに入学金及び授業料その他の納付金を一括納入（銀行振込）した後、「令和 8（2026）年度学習院大学入学手続書類」を郵送（締切日消印有効）して入学手続を完了してください。

入学手続締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

3. 入学手続時納付金

令和 8（2026）年度入学者の納付金は、現在未定のため、入学手続要項に記載いたします。なお、参考までに 31 頁をご確認ください。

4. 卒業証明書

大学を卒業（修了）見込で受験した者（本学含む）は、卒業後、「卒業証明書」を令和 8（2026）年 3 月 27 日（金）までに本学アドミッションセンター宛に郵送してください。その際、下記の内容を朱書してください。

卒業証明書の右上の余白に、入学研究科・専攻・カナ氏名を明記してください（大学で封がされている場合は、開封して記入してください。厳封の必要はありません）。

5. 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、令和 8（2026）年 3 月 31 日（火）16：00 までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料その他の納付金）を返還します。

[注意事項]

入学手続後は、提出した書類の返却には一切応じません。

⑧ 入学時期

令和 8（2026）年 4 月 1 日（水）

ただし、出願に際し、出願資格が卒業（修了）見込の資格で受験し、合格した者が、令和 8（2026）年 3 月 31 日（火）までに、資格を取得（卒業・学位など）できなかった場合、入学許可を取り消します。

奨学金・研究費

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては5万円、博士後期課程においては20万円を申請者全員に研究費として給付しています。

臨床心理学専攻

臨床心理士受験資格について

従来どおり臨床心理士養成指定大学院として必要単位数を履修することで、臨床心理士受験資格が得られます（臨床心理士受験においては、学部での履修科目は関係ありません）。

公認心理師受験資格対応について

心理学分野の国家資格である公認心理師法が2017年9月に施行されました。

それに伴い学習院大学人文科学研究科臨床心理学専攻博士前期課程では、2018年度から大学院における公認心理師受験資格を満たす10科目を開設しており、公認心理師受験資格カリキュラムにも対応しています。

なお、公認心理師受験資格を得るためには、本学臨床心理学専攻博士前期課程入学以前に、学部において所定の科目を履修し卒業していることが必要です。所定科目の履修状況については、出身大学に問合せてください。

【博士後期課程】

博士後期課程

① 募集人員

研 究 科	専 攻	募 集 人 員
人文科学研究科	哲 学 専 攻	約 3 名
	美 術 史 学 専 攻	約 3 名
	史 学 専 攻	約 3 名
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	約 3 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	約 3 名
	ドイッ語ドイツ文学専攻	約 2 名
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	約 2 名
	心 理 学 専 攻	約 2 名
	臨 床 心 理 学 専 攻	約 3 名
	教 育 学 専 攻	約 5 名
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	約 3 名
	身体表象文化学専攻	約 3 名

② 出願資格

- 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みのある者
- 学校教育法施行規則第 156 条の規定により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者で、次の（1）～（7）のいずれかに該当する者
 - 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みのある者
 - 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みのある者
 - 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに授与される見込みのある者
 - 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 8（2026）年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みのある者
 - 外国の学校、（3）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
 - 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 24 歳に達するもの

[注意事項]

- 上記出願資格 2（2）、（4）、（5）又は（7）で出願しようとする者については、あらかじめ出願資格の認定審査を行いますので、次の期間に本学アドミッションセンターに「出願資格審査申請書」と併せ、入学志

願票、成績証明書、修了証明書（外国の大学を卒業した場合は、取得学位（修士）が記載されているもの）のコピーを郵送にて提出してください。

出願資格認定審査受付期間 令和7（2025）年11月26日（水）～11月28日（金）

本申請書は、本学入試情報ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/qualification/>

2. 上記の有資格者で、現在就業中の者が入学後に職業を継続することは、学業に差支えない限り、これを妨げません。

③ 選考方法

入学者の選考は、筆記試験、口述試験、出身校の成績によって決定します。

④ 試験日及び試験科目

筆記試験 2月21日（土）－西2号館で実施

口述試験 2月21日（土）又は22日（日）－西2号館、北2号館、北1号館で実施

2月21日（土）に口述試験が終了した場合、2月22日（日）の口述試験はありません。

口述試験の日時は、受験票発送時にお知らせします。遠距離受験等の事情には配慮します。

月 日		2月21日（土）				2月22日（日）
専 攻		9：00～10：00	10：20～12：20	13：10～14：10	15：00～	10：00～
哲 学 専 攻			外国語原書読解 （注1）	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
	哲学史及び思想史	英・独・仏・古典 ギリシア語・古典 ラテン語・漢文・ （日）のうちから 2科目				
美術史学専攻		9：00～10：00	10：20～11：50	13：10～14：10	15：00～	10：00～
	美術史		外国語原書読解 （注1） 英語（60分）及び 独・仏・伊・漢文・ （日）のうちから1 科目（30分）	論 文	口 述 試 験	口 述 試 験
史 学 専 攻		9：00～10：00	10：20～12：20	14：00～		
	外国語原書読解 英・独・仏・中・ （日）のうちから 1言語	論文（歴史学に関 する）	口 述 試 験			
日 本 語 専 攻 日 本 文 学 専 攻		9：00～10：00	10：20～12：20	13：10～		
	外国語（注4） 英・独・仏・中・ （日）のうちから 1言語	日本語学・日本文 学	口 述 試 験			
英 語 英 米 文 学 専 攻		9：00～10：00	10：20～11：50	13：00～		
	英語	論文（注5）	口 述 試 験			
ドイ ツ 語 ドイ ツ 文 学 専 攻		9：00～10：00	10：20～12：20	14：00～		
	外国語（注4） 英・仏のうちか ら1言語	ドイツ語及び専門 知識	口 述 試 験			

専攻 \ 月 日	2月21日(土)			2月22日(日)
フランス文学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20	13:10～	
	外国語(注4) 英・独のうちから1言語	仏文学・仏語学・ 仏文読解	口述試験	
心理学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20	15:00～	
	心理学	英語原書読解	口述試験	
臨床心理学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20	15:00～	
	臨床心理学	英語原書読解	口述試験	
教育学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20	14:00～	
	外国語原書読解 (注2) 英・(日)のうち から1言語	論文	口述試験	
アーカイブズ学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20		10:00～
	外国語原書読解 英・(日)のうち から1言語	アーカイブズ学に 関する専門知識・ 論文		口述試験
身体表象文化学専攻	9:00～10:00	10:20～12:20		10:00～
	外国語(注4) 英・独・仏の うちから1言語	選択した領域に関 する論文(注6)		口述試験

※外国人受験生(外国籍を有し、外国所在の外国の高等学校を卒業又は修了した者)の外国語原書読解・外国語試験について

- 外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として、母語を選ぶことはできません。
- 哲学専攻・美術史学専攻・史学専攻・日本語日本文学専攻・教育学専攻・アーカイブズ学専攻を志望する外国人受験生は、外国語原書読解・外国語試験として日本語を選ぶことができます。

- 注1. 哲学専攻の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、また美術史学専攻の外国語原書読解については、英語及び選択した1科目の辞書をそれぞれ1冊、持ち込むことができます(電子辞書は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。
2. 学校教育法の定める学校で教職経験等が通算3年以上、又は児童福祉法に定める児童福祉に関わる保育士等の業務経験が通算3年以上(いずれも非常勤を含む、通算可)の者は、辞書を持ち込むことができます。(電子辞書、携帯電話は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。この条件で辞書持ち込みを希望する者は、出願時に履歴書(所定の書式)を添付して資格の判定を申請してください。
3. 上記1.の哲学専攻・美術史学専攻の外国語原書読解以外の全ての科目については、辞書の使用を認めません。ただし、上記2.において辞書の持ち込みを許可された場合は、辞書の使用を認めます。
4. ドイツ語、フランス語の試験は、それぞれドイツ語技能検定試験3級、実用フランス語技能検定試験3級程度の知識を前提とします。
5. i 英語圏の文学・文化、ii 英語学の2分野から1つを選択します。なお、iの「英語圏」は広い地域にわたるため、設問中から選択し解答します。iiにおいても、設問中から選択し解答します。
6. 選択する領域は、i 舞台芸術、ii 映像芸術、iii マンガ・アニメーション芸術、iv ジェンダー表象のいずれか1つとします。

【受験上の注意】

1. 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに試験本部に申し出てください。
3. 試験開始後20分を経過した場合には入室を認めません。

4. 公共交通機関の遅延により間に合わなかった場合には、該当の公共交通機関の発行した遅延証明書を
持って試験本部に申し出てください。
5. 試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆・シャープペンシル・ボールペン（いずれも黒又は青のみ）・
消しゴム・時計・受験票のみです。携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器を時計
として使用することは禁止します。
6. 携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ等の通信機器は、試験室に入る前に電源を切っておく
とともに、アラーム機能を解除しておいてください。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、
監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、
試験本部で試験終了まで保管します。
7. 試験室内での撮影・録画・録音を禁止します。
8. 試験科目のいずれかひとつでも欠席した場合は、不合格となります。

⑤ 出願手続

1. 出願期間 令和 8（2026）年 1 月 13 日（火）～1 月 15 日（木）
2. 出願方法

出願者は、入学検定料 35,000 円を振込のうえ（「4. 入学検定料について」参照）、出願書類（「3. 出願書類」
参照）を一括して、本学アドミッションセンターに提出してください。

郵送の場合は、簡易書留（かつ速達扱い）で本学アドミッションセンター宛に、1 月 15 日（木）までに
必着で送付してください。

窓口提出の場合は、出願期間内にアドミッションセンター窓口まで持参してください。※窓口受付時間外
の提出不可。

①出願書類は、各自用意した封筒（角形 2 号）の中に入れ、封筒の表面に所定の出願封筒貼付用紙を貼付
して提出してください。

②論文（修士論文）は、試験終了後返送しますので、返送先の住所氏名を明記した封筒に入れて①に同封
してください。

③②が各自用意した封筒（角形 2 号）に入りきらない場合は、①と②を大きな封筒に入れて提出してくだ
さい。

3. 出願書類

志願者は、次の書類を一括して、所定の期日までに本学アドミッションセンターへ提出してください。
ただし、本研究科博士前期課程修了者及び修了見込者は、出願時に（6）の書類を必要としません。

(1) 入学志願票（本学所定の用紙。身体表象文化学専攻については専攻所定の用紙、A4 サイズ）

※入学志願票に記入する「希望する指導教員名」については、35 頁以降の「人文科学研究科の概要」等
を参照してください。

(2) 写真票（本学所定の用紙、A4 サイズ）

※写真 1 枚（3 か月以内に撮影したもので、アプリ等で画像（顔等）を加工しておらず、受験時に本人と
確認できるもの。縦 4cm × 横 3cm。写真票に貼付してください）

※出願書類の内容を確認し次第、後日受験票を送付します。この本学からの受験票の発送をもちまして、
出願書類の受理通知となります。

なお、出願書類を提出してから 2 月 13 日（金）までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッ
ションセンターまで問合せください。

(3) 成績証明書（学部）1 通

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

(4) 成績証明書（大学院）1 通

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

(5) 入学後の研究計画書（本学所定の用紙、A4 サイズ、HP よりダウンロード）

(6) 修了証明書又は修了見込証明書

※外国の大学を卒業した場合は、取得学位（修士）が記載されているものを提出してください。

※和文又は英文以外の場合は、和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を大使館等で受けて提出してください（原本も必ず提出してください）。

(7) 外国人志願者の場合は①住民票（居住する地方公共団体が発行したもの）、又は②パスポートのコピー、のいずれか

(8) 提出書類記載の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、同一人物であることを証明する公的書類（戸籍抄本等）

(9) 入学検定料振込金受取書（提出用）

※入学検定料振込依頼票の依頼人欄のコードには『30』と記入してください。

(10) 論文（修士論文）〔本人宛名明記の封筒に入れてください（切手の貼付不要）。口述試験後返却します。〕
論文（修士論文又はそれに相当する論文）又はその写し 1 部を提出してください。

※本学博士前期課程修了見込者で、すでに修士論文を提出した者は、改めて修士論文を提出する必要はありません。ただし、本学博士前期課程修了者又は修了見込者であっても在籍する専攻（博士前期）と異なる専攻（博士後期）に出願する場合には、論文を提出する必要があります。

※論文は、日本語又は英語で書かれたものを提出してください。

4. 入学検定料について（35,000 円、銀行振込期間：1 月 5 日（月）～1 月 15 日（木））

イ. 本学所定の振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。期間外は取り扱いません。なお、りそな銀行本・支店からの場合、手数料は無料です。また、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。（現金自動預払機 [ATM]、インターネットによる振込は使用しないでください）

ロ. 一度提出した書類及び納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（31 頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので、あらかじめご承知おきください。

また、振込手数料については、返還することができません。

ハ. 出願者が日本国内に居住しておらず日本国外から出願する場合には、銀行からの外国送金により入学検定料を振り込んでください。31 頁「外国送金による入学検定料の振込について」の内容をよく読み、期限に余裕をもって手続を行ってください。なお、外国送金した際に銀行から受け取る外国送金依頼書「本人控」のスキャンデータ（PDF）を本学アドミッションセンターにメールで送信するとともに、外国送金依頼書「本人控」のコピーを出願書類と一緒に提出してください。

また、受験に際しての渡航にあたり「受験許可証」が必要な場合も本学アドミッションセンターにご相談ください。

[注意事項]

(1) 受験特別配慮について

身体機能の障がいにより、受験及び就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願照会期間の最終日までに必ず本学アドミッションセンターにお問合せください。

申請手順の詳細は、以下のホームページよりご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/consideration/>



(2) 日本国外からの出願について

出願期間前までに、必ず本学アドミッションセンターにご相談ください。

(3) 外国籍の方の氏名について

外国籍の方は、氏名をアルファベット表記及びカナ氏名のみ使用します。アルファベット表記は在留カード及びパスポートの綴りと同一にしてください。カナ氏名は本国での読み方とします。ただし、特別永住者はこの限りではありません。

(4) 出願書類について

- ・ 出願手続後は、いかなる理由があっても、出願書類に記載した事項の一切の変更は認めません。
- ・ 出願手続時提出書類（パスポートを除く）は、原本での提出を必須とします。

なお、原本が1部しかない等の理由で提出できない場合は、下記 a、b いずれかの方法によって原本証明をしたコピーの提出を認めます。

- a. 原本を在籍大学等に持参し、コピーを取ってもらい、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（コピーの余白等に「原本と相違ないことを証明する」旨を記入（ゴム印等の使用可。消せるインクの使用不可）のうえ、在籍大学等の印又は在籍大学長等の印を押印）。
- b. 原本を本学アドミッションセンターに持参し、アドミッションセンター職員がコピーを取り、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける（本学アドミッションセンターの証明印を押印）。

(5) 健康診断書について

出願にあたって健康診断書の提出は必要としません。ただし、入学後に本学で実施する健康診断は、必ず受けてください。

⑥ 合格発表

令和8（2026）年2月26日（木）10：00

1. 本学入試情報ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/result/>）に合格者の受験番号一覧を掲載します。また、合格者には、併せて「入学手続書類」を速達郵便で送付します。
※発表日を含め3日経っても未着の場合は、本学アドミッションセンターまで必ず問合せてください。
2. 可否に関する問合せには、一切応じません。

⑦ 入学手続

1. 入学手続締切日 令和8（2026）年3月6日（金）締切日消印有効
2. 入学手続方法

入学手続方法の詳細については、HPに掲載する「入学手続要項」に従ってください。

合格者は、入学手続締切日までに入学金及び授業料その他の納付金を一括納入（銀行振込）した後、「令和8（2026）年度学習院大学入学手続書類」を郵送（締切日消印有効）して入学手続を完了してください。入学手続締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

3. 入学手続時納付金

令和 8（2026）年度入学者の納付金は、本要項作成時未定のため、入学手続要項に記載いたします。なお、参考までに 31 頁をご確認ください。

4. 修了証明書

博士前期課程を修了見込で受験した者は、修了後、「修了証明書」を令和 8（2026）年 3 月 31 日（火）までに本学アドミッションセンター宛に郵送してください。その際、下記の内容を朱書してください。

修了証明書の右上の余白に、入学研究科・専攻・カナ氏名を明記してください（大学で封がされている場合は、開封して記入してください。厳封の必要はありません）。

5. 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、令和 8（2026）年 3 月 31 日（火）16：00 までに、本学アドミッションセンターに申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料その他の納付金）を返還します。

[注意事項]

入学手続後は、提出した書類の返却には一切応じません。

8 入学時期

令和 8（2026）年 4 月 1 日（水）

ただし、出願に際し、大学院博士前期課程又は修士課程修了見込みの資格で受験し、合格した者が、令和 8（2026）年 3 月 31 日（火）までに、資格を取得（卒業・修士など）できなかった場合、入学許可を取り消します。

奨学金・研究費

学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金について

大学院博士後期課程に在学する大学院生を対象として、納付金負担を軽減し若手研究者の研究活動を奨励することを目的に、給付奨学金を新設しました。申請により、授業料の 3 分の 1 相当額を奨学金として給付します。

人文科学研究科特別研究費について

人文科学研究科に在籍する大学院生の研究を支援するため、博士前期課程においては 5 万円、博士後期課程においては 20 万円を申請者全員に研究費として給付しています。

(西曆) 2026 年度

學習院大学大学院 人文科学研究科入学志願票

◎外国籍の方は、氏名をアルファベット表記及びカナ氏名のみ使用します。アルファベット表記は在留カード及びパスポートの綴りと同一にしてください。カナ氏名は本国での読み方とします。ただし、特別永住者はこの限りではありません。

課程 (○で囲んでください)		博士前期課程		博士後期課程		本学学生は学籍番号を記入してください		留学生のみ(○で囲んでください)	
出願者氏名		姓	名			— —		1. 国費留学生 2. 私費留学生 3. その他	
	カナ表記	ガクシュウイン		タロウ		志望する専攻			
	漢字表記	学習院		太郎		史学 専攻			
	アルファベット表記	GAKUSHUIN		TARO					
メールアドレス		フリガナ キュウキュウキュウアットジョーエーケーユーエスイチユーアイエムドットエーシードットジェイピー 999@gakushuin.ac.jp ・英数字にはカタカナでフリガナを記入してください。また、丁寧に読みやすく記入してください。 (間違えやすい文字の例。0(ゼロ)とo(オー)、1(イチ)とl(エル)、7(ナナ)と1(イチ))				生年 月 日	(西暦) 2003 年 10 月 5 日 生		(男・女) (○で囲んでください)
現住所		〒 〇〇市 (都道府県) 〇〇区 (市・区・町・村) 〇〇〇〇〇〇〇〇 電 話 (080) 9999 - 9999							
受信場所 (現住所と異なる場合のみ記入)		〒 171-8588 東京都 豊島区 目白 1-5-1 電 話 (03) 5992 - 1083				国籍	(日本国籍以外の人) 中国	日本国外の 銀行から 外国送金	(該当する場合○を 記入してください)
入学後の研究テーマ又は論文題名(予定)						希望する指導教員名			
〇〇〇〇〇〇〇〇						目白 花子 先生			
出願資格 (卒業) 修了(見込)		(西暦) 2005 年 6 月	大 学 ・ 大 学 院 学 部 ・ 学 科 研究科・専攻		国立・公立・私立 外国・その他 (○で囲んでください)		〇〇大学 〇〇学部〇〇学科		
受験時選択科目		外国語/外国語原書読解 (哲学専攻は2科目, その他の専攻は1科目記入)				専攻別試験科目 (○で囲んでください)			
		英語				[史学専攻博士前期課程] ●日本史 ●東洋史 ●西洋史 [英語英米文学専攻] ●英語圏の文学・文化 ●英語学			

◎外国人留学生の場合、学歴欄には在籍中の日本語学校等についても明記してください。

学歴	(西暦)	2021 年 6 月	〇〇〇〇高級中学	高等学校卒業
		2021 年 9 月	〇〇大学	入学
		2025 年 6 月	〇〇大学	卒業
		年 月		
		年 月		
職歴	(西暦)	年 月		
		年 月		
		年 月		
		年 月		

[illegible]

【参 考】

納付金

納付金については、以下のホームページをご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/fee/>



寄付金

本学では、学習院の発展並びに教育改革推進のためのご寄付（任意）をお願いしております。入学後に改めてご案内をお送りする予定でございますので、ご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。

過去の志願者・合格者・入学者数

過去の志願者・合格者・入学者数については、以下のホームページをご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/past-exam-data/>



外国送金による入学検定料の振込について

外国送金による入学検定料の振込については、以下のホームページをご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/foreign-remittance/>



入学検定料の返還について

入学検定料の返還手続については、以下のホームページをご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/refund/>



在留資格の取得について

在留資格の取得については、以下のホームページをご確認ください（右記の QR コードからもアクセスできます）。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/pass/residence/>



【出願時の注意点】

令和 8（2026）年 1 月以降に実施される試験日に出願をご検討されている方で、以下に該当する方は入学までに在留資格の取得が間に合わない場合がありますので、令和 7（2025）年 12 月までに実施される試験日（他の入試日程や他の入試制度）への出願をご検討ください。

- ・海外在住のため、在留資格（短期滞在を除く）の新規取得が必要な方
- ・令和 8（2026）年 1 月から令和 8（2026）年 3 月末日までに在留資格（短期滞在を除く）の有効期間が満了となる方

【参考】入学時の必要な在留資格について

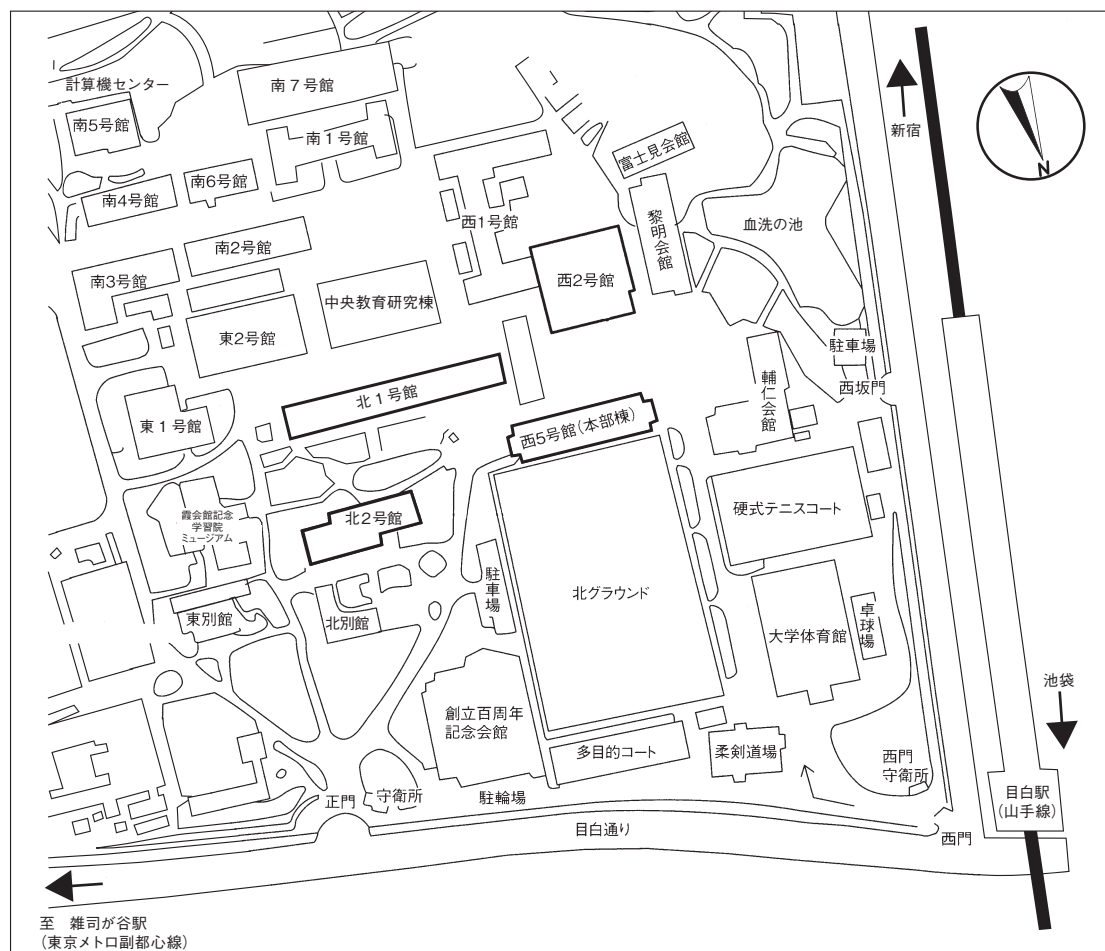
入学前に原則として「留学」の在留資格の取得が必要です。

「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格（「定住者」「家族滞在」等）でも入学・在学することはできますが、「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません。在留資格に関する申請書類の発行及び入学許可証の発行手続については、本学ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/pass/residence/>）をご確認ください。

※本学入学に支障のない在留資格（有効期限が令和8（2026）年4月1日以降のもの）を保有していない場合、本学での修学が不可能となります。在留資格審査は出入国在留管理を所管する行政庁が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。

構内案内図

アドミッションセンターは、案内図中央に位置する西5号館（本部棟）4階です。



交 通：JR 山手線 目白駅下車徒歩3分

東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車徒歩10分

*自動車による入構、駐車はできません

試 験 場：9月20日（土）

筆記試験 — 西2号館

：9月20日（土）・21日（日）

口述試験 — 西2号館・北2号館・北1号館文学部各研究室

：2月21日（土）

筆記試験 — 西2号館

：2月21日（土）・22日（日）

口述試験 — 西2号館・北2号館・北1号館文学部各研究室

【人文科学研究科の概要】

各専攻の専任教員及び講義題目はいずれも令和7（2025）年度のも
のであり、令和8（2026）年度には変更の可能性があります。

学習院大学大学院人文科学研究科の概要

本大学院人文科学研究科は、優秀な研究者、教育者及び高度の専門的知識を持った職業人たるべき人材の育成につとめ、本学設立の目的使命の達成をめざしています。

1. 本大学院人文科学研究科の組織・入学定員・修業年限

a 博士前期課程（修業年限2年）

専攻課程及び入学定員は次のとおりです。

研 究 科	専 攻	入 学 定 員
人 文 科 学 研 究 科	哲 学 専 攻	10 名
	美 術 史 学 専 攻	10 名
	史 学 専 攻	15 名
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	20 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	10 名
	ド イ ツ 語 ド イ ツ 文 学 専 攻	5 名
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	5 名
	心 理 学 専 攻	6 名
	臨 床 心 理 学 専 攻	12 名
	教 育 学 専 攻	20 名
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	15 名
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻	10 名

b 博士後期課程（修業年限3年）

専攻課程及び入学定員は次のとおりです。

研 究 科	専 攻	入 学 定 員
人 文 科 学 研 究 科	哲 学 専 攻	3 名
	美 術 史 学 専 攻	3 名
	史 学 専 攻	3 名
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻	3 名
	英 語 英 米 文 学 専 攻	3 名
	ド イ ツ 語 ド イ ツ 文 学 専 攻	2 名
	フ ラ ン ス 文 学 専 攻	2 名
	心 理 学 専 攻	2 名
	臨 床 心 理 学 専 攻	3 名
	教 育 学 専 攻	5 名
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻	3 名
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻	3 名

I 哲学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
小 島 和 男	教 授	ギリシア哲学（特にプラトン研究）	テキストの読解に重点をおいています。また、内容に加えて、その哲学者がどうしてそれを書いたのか、書くということと哲学することのつながりについて意識しながら研究しているのが特徴だと言えます。また、最新の研究情報の収集及び人的交流のため、各種学会活動を積極的に行っております。
澤 田 和 範	准教授	近現代英米哲学（特にヒューム哲学）	思想史的背景を考慮しつつ原典の厳密な解釈を与える。と同時に、現代の分析的な議論を用いて批判的な吟味と評価を行う。
陶 久 明 日 香	教 授	西洋近現代哲学（特にハイデッガー哲学とその影響について）	原典の緻密な読解を通じて哲学的言説の中に隠されている可能性を探り出し、再構築する。またその有意義性を時代背景や現代の諸問題などを考慮に入れて検討する。
杉 山 直 樹	教 授	西洋近現代哲学（特にベルクソン哲学）	ベルクソンを中心としつつも、それに先立つフランス哲学や、同時代の科学論を視野に収めながら研究を続けています。ある哲学者の内在的理解と哲学史的研究、ともに重要だと思っています。
松 波 直 弘	教 授	日本思想史（特に鎌倉仏教思想）	宗教や宗派としての問題や、勢力展開の時代性など、テキスト成立に関わる文脈と、テキストそれ自体が持つ言葉の文脈とを読み解く。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
哲学演習	イデアと芸術Ⅱ	4	通年	陶 久 明日香 教 授	
哲学演習	西洋古代哲学原典研究	4	通年	小 島 和 男 教 授	
哲学演習	『人間本性論』第三巻の精読	4	通年	澤 田 和 範 准教授	
哲学演習	メルロ＝ポンティ『眼と精神』を読む	4	通年	杉 山 直 樹 教 授	
◆哲学演習	良心について	4	通年	陶 久 明日香 教 授	
◆哲学演習	フーコー『性の歴史1』を読む	4	通年	杉 山 直 樹 教 授	
◆哲学演習		4	通年	板 橋 勇 仁 講 師	
◆哲学演習	アリストテレス『エウデモス倫理学』を読む	2	第2学期	佐良土 茂 樹 講 師	
◆哲学演習	プラトン『イオン』を読む～詩人の才能とは何か～	2	第2学期	小 川 文 子 講 師	
思想史演習	華嚴思想研究2	4	通年	松 波 直 弘 教 授	
◆思想史演習	ヒュームの宗教論	4	通年	澤 田 和 範 准教授	
◆思想史演習	『正法眼蔵』の思想史的研究	4	通年	松 波 直 弘 教 授	
◆思想史演習	アマテラスを読む―古代中世の神道思想―	4	通年	小 平 美 香 講 師	
◆哲学特殊研究	ヒューム哲学とその周辺	4	通年	澤 田 和 範 准教授	
◆哲学特殊研究	美と芸術の源流②―近世以降の美学	2	第2学期	小 川 文 子 講 師	
◆思想史特殊研究	実存主義的現象学入門： サルトルとメルロ＝ポンティ	4	通年	國 領 佳 樹 講 師	
◆思想史特殊研究	〈不可能〉をめぐる思想史	4	通年	松 波 直 弘 教 授	
修士論文指導（哲学専攻）		2	集中（通年）		
博士論文指導（哲学専攻）		2	集中（通年）		

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅱ 美術史学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
荒 川 正 明	教 授	日本美術史・工芸史	陶磁器を中心に、その造形を他の素材の作品との比較を通じて考察する。うつわが使われる場にも注目している。
京 谷 啓 徳	教 授	西洋美術史・芸術学	ルネサンス君主の宮廷美術を中心に、初期近世イタリア美術を研究する。美術と演劇・芸能の接点にも関心がある。
近 藤 壮	教 授	日本美術史（近世・近代絵画史）	近世・近代の絵画を中心に、視覚イメージの分析から作品が生み出された背景、その意味と機能について考察します。
皿 井 舞	教 授	日本美術史 （特に彫刻を中心とする仏教美術）	古代・中世の仏像を中心に、作品を生み出す主体である、注文主、仏師、僧侶などの関わりに注目をしながら研究をしています。
吉 田 紀 子	教 授	西洋近代美術史・デザイン史	芸術家、作品、周辺環境（批評や政策）が複合的に紡ぎだす美術史の広がりに向け、西洋近代の美術及びデザインに対して社会文化史的視点からアプローチする。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
日本東洋美術史演習	日本東洋美術史研究の方法	4	通年	近 藤 壮 教 授	第1学期 第2学期
日本東洋美術史演習	日本美術史研究の方法論	4	通年	皿 井 舞 教 授	
◆日本東洋美術史演習	うまし うるわし 日本の食事とうつわ	4	通年	荒 川 正 明 教 授	
西洋美術史演習		4	通年	秋 山 聡 講 師	
西洋美術史演習		4	通年	吉 田 紀 子 教 授	
◆芸術学演習	メディアとしての浮世絵	4	通年	藤 澤 紫 講 師	
◆日本東洋美術史特殊研究	日本陶磁史研究	4	通年	荒 川 正 明 教 授	
◆日本東洋美術史特殊研究	江戸絵画の多様性を探る	4	通年	近 藤 壮 教 授	
◆西洋美術史特殊研究	世紀転換期芸術の連環 ——フランスのアール・ヌーヴォー	4	通年	吉 田 紀 子 教 授	
◆西洋美術史特殊研究	16-17 世紀スペインの美術	4	通年	川 瀬 佑 介 講 師	
◆西洋美術史特殊研究	前期：西洋の文芸と美術 後期：フラ・アンジェリコと形象	4	通年	水 野 千 依 講 師	
美術館学特殊研究（大学院）	ミュージアムの存在意義とその活動	4	通年	荒 川 正 明 教 授 古 川 攝 一 講 師	
修士論文指導（美術史学専攻）		2	集中（通年）		
博士論文指導（美術史学専攻）		2	集中（通年）		

◆印は大学院科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅲ 史学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
家 永 遵 嗣	教 授	日 本 中 世 史	日本中世史、特に室町から戦国期にかけての政治史。将軍権力のありかたを、訴訟の手続きや軍事力の行使などの諸面を通じて精力的に追求する。
鐘 江 宏 之	教 授	日 本 古 代 史	日本古代史、特に律令政治の背景にある社会・文化、地方行政と地方社会、文書行政のあり方、出土文字資料の史料学的研究などに幅広く取り組んでいる。
亀 長 洋 子	教 授	西 洋 中 世 史	西洋中世史、特に中世盛期からルネサンス期までのイタリアや地中海世界を対象に都市社会史や商業活動に関わるテーマを幅広く扱っている。
工 藤 晶 人	教 授	西 洋 近 代 史	フランスとマグリブの関係を専門として、地中海の歴史について考えている。通訳者、旅行者、改革者などに着目して、人々の交流を長い時間のなかでとらえなおすことを試みている。
佐 藤 雄 介	教 授	日 本 近 世 史	日本近世史。特に、幕政史・財政史・朝幕関係（＝天皇・朝廷と幕府の関係）を研究。それらをリンクさせながら江戸時代の政治を描く。
島 田 誠 [◎]	教 授	西 洋 古 代 史	西洋古代史、特に元首政期のローマ帝国史が専門で、「ポプルス」の構成はどうだったか、「属州都市」がどんな状況だったか等々と研究の幅を広げている。
海老根 量 介	准教授	中 国 古 代 史	東洋古代史、特に戦国時代から秦漢時代の中国が専門。出土文字史料を活用し、当時の人々の生活や文化に光をあてた研究を行っている。
千 葉 功 (兼 任)	教 授	日 本 近 代 史	日本近代史、特に明治期の政治外交史。日露戦争期の日本外交研究から出発し、対象を推移させて大久保政権～帝国憲法発布期の研究を試みている。
武 内 房 司 (兼 任)	教 授	中 国 近 代 史	東洋近代史、特に近代華南・東南アジア世界を人の移動や宗教の伝播に注目しながら幅広く研究。

※兼任教員も指導教授とすることができる。

※◎の付してある教員は、2026年3月退職予定です。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
日本史演習	『国太歴』講読	4	通年	家 永 遵 嗣 教 授	
日本史演習	『日本三代実録』講読	4	通年	鐘 江 宏 之 教 授	
日本史演習	日本近現代史の諸問題	4	通年	千 葉 功 教 授	
日本史演習	日本近世史研究の課題と論点をめぐって	4	通年	佐 藤 雄 介 教 授	
東洋史演習	清代日記研究	4	通年	武 内 房 司 教 授	
東洋史演習	張家山漢簡（336号墓）『功令』を読む	4	通年	海老根 量 介 准教授	
西洋史演習	西洋中世史史料研究	4	通年	亀 長 洋 子 教 授	
西洋史演習	近世ヨーロッパ社会文化史とグローバル ヒストリー	4	通年	坂 野 正 則 講 師	
西洋史演習	ラテン語史料の講読	4	通年	島 田 誠 教 授	
◆日本史特殊研究	中世前期古記録講読	4	通年	本 郷 恵 子 講 師	
◆日本史特殊研究	日本古代の宮都の遺跡と出土文字資料	4	通年	鐘 江 宏 之 教 授	
◆日本史特殊研究	戦後日本の食をめぐる空間性	4	通年	塚 原 浩 太 郎 講 師	
◆日本史特殊研究	日本近世史研究の方法	4	通年	岩 淵 令 治 講 師	
◆東洋史特殊研究	『新学偽経考』を読む／『中国歴史研究 法補編』を読む	4	通年	海老根量介准教授・武内房司教授	
◆東洋史特殊研究	中国民衆宗教の史料に触れる	2	第1学期	小武海 櫻 子 講 師	
◆東洋史特殊研究	魏晋南北朝時代の基本史料を読む	2	第2学期	板 橋 暁 子 講 師	
◆西洋史特殊研究	感情史とは何か	4	第1学期	森 田 直 子 講 師	
◆西洋史特殊研究	西洋における決闘文化		第2学期	森 田 直 子 講 師	
◆古文書学文献学研究	室町時代の日記と紙背文書を読む	4	通年	末 柄 豊 講 師	
史学理論史学史研究		4	通年	松 沢 裕 作 講 師	
修士論文指導(史学専攻)		2	集中(通年)	家 永 遵 嗣 教 授	
博士論文指導(史学専攻)		2	集中(通年)	家 永 遵 嗣 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

IV 日本語日本文学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
安 部 清 哉	教 授	日本語学・方言学	日本語の語彙（言葉の意味と構造）と資料の研究、及び、方言学・方言の歴史
勝 又 隆	教 授	日本語学・日本語文法史	上代・中古を中心とした日本語の史的研究。古代語の文法体系の記述と史の変遷の研究。
金 田 智 子	教 授	日本語教育学、授業分析	・日本語教育の内容と方法に関する研究 ・日本語教師の養成・研修、教師の成長
鈴 木 健 一	教 授	日本近世文学	・江戸時代の文学表現を分析する ・古典享受の様相を分析する ・詩歌表現の特質について分析する
千 野 裕 子	准教授	平安時代の文学、物語文学	平安文学後期を中心とした、物語文学における影響関係と個々の作品の独自性の分析
中 上 亜 樹	准教授	日本語教育学、第二言語習得論	第二言語習得論に基づく外国語教授法 インプット理解のメカニズム
中 嶋 真 也	教 授	日本上代文学	・上代文学作品の精読 ・上代文学作品の享受研究
中 野 貴 文	教 授	日本中世文学	中世以前からの影響、中世以降の享受等を含め、中世文学の史的動態を分析する。
中 山 昭 彦	教 授	近現代文学	1890 年代～ 1930 年代の文学・美術・国語政策・メディアの重層的関係の研究 戦後から現在までの反＝表象的な現代文学研究
前 田 直 子	教 授	現代日本語学	・現代日本語文法、とくに複文の記述的研究 ・日本語教育における文法研究
山 本 芳 明 [◎]	教 授	日本近現代文学の研究	・1910 年代から 80 年代にかけての文学場の変動の研究 ・私小説と批評の関係 ・経済的視点から見る文化活動について
鷲 尾 龍 一 [◎]	教 授	言語学、言語学史	・東西諸言語の比較研究 ・翻訳をめぐる諸問題 ・国語学史・言語学史の再構成

※◎の付してある教員は、2026 年 3 月退職予定です。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
◆日本語学特殊研究	日本語文法史研究における課題と展望 歌舞伎資料を読む―幕内紹介書― 日本近代文学における文芸評論確立期の研究	4	通年	鷲 尾 龍 一 教 授	
◆日本語学特殊研究		2	第 1 学期	島 田 徳 子 講 師	
◆日本語学特殊研究		2	第 2 学期	松 崎 寛 講 師	
◆日本語史特殊研究		4	通年	勝 又 隆 教 授	
◆日本文学特殊研究		4	通年	光 延 真 哉 講 師	
◆日本文学特殊研究		4	通年	山 本 芳 明 教 授	
◆日本文学特殊研究		4	通年	桜 井 宏 徳 講 師	
◆日本文学特殊研究		4	通年	鷲 尾 和 弘 講 師	
◆日本文学史特殊研究		4	通年	海 野 圭 介 講 師	
◆日本語学演習		4	通年	安 部 清 哉 教 授	
◆日本語学演習	理論を実践に結び付ける：コースデザインと教材開発	4	通年	久保田 美 子 講 師	
◆日本語学演習	指導場面における第二言語習得（ISLA） 『万葉集』巻第一を読む 中世の物語を読む 江戸時代の随筆を読む 文学と文化の間 為家本『狭衣物語』を読む 上代文献読解法	4	通年	幸 松 英 恵 講 師	
◆日本語学演習		4	通年	中 上 亜 樹 准教授	
◆日本文学演習		4	通年	中 嶋 真 也 教 授	
◆日本文学演習		4	通年	中 野 貴 文 教 授	
◆日本文学演習		4	通年	鈴 木 健 一 教 授	
◆日本文学演習		4	通年	中 山 昭 彦 教 授	
◆日本文学演習		4	通年	千 野 裕 子 准教授	
◆日本文学演習		4	通年	瀬 間 正 之 講 師	
修士論文指導（日本語日本文学専攻）		2	集中(通年)	安 部 清 哉 教 授	
修士論文（日本語日本文学専攻）		0	集中(通年)	安 部 清 哉 教 授	
博士論文指導（日本語日本文学専攻）		2	集中(通年)	安 部 清 哉 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

V 英語英米文学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
新 井 景 子	教 授	アメリカ文学	19 世紀半ばから 20 世紀初頭のアメリカ小説における女性像
Louise Ohashi	教 授	応用言語学、英語教育学	Second language acquisition, CALL/MALL, learner autonomy, learner motivation, and multilingualism.
上 岡 伸 雄 [◎]	教 授	現代アメリカ小説	特にドン・デリーロ、ポール・オースター、フィリップ・ロス、ティム・オブライエンなど
桐 山 大 介	准教授	アメリカ文学・アメリカ文化	ウィリアム・フォークナーやラルフ・エリソンら、20 世紀前半から中盤のアメリカ作家を中心に研究。
田 辺 千 景	教 授	19 世紀米文学	アメリカ家庭／感傷小説の系譜、及び Henry James, Edith Wharton など
富 田 祐 一 [◎]	教 授	英語教育学	教授法、第二言語習得、外国語教育政策など
平 田 一 郎	教 授	語用論、意味論、理論言語学	文法理論、会話英語の語用論的分析など
Andrew Fitzsimons	教 授	アイルランド文学	Joyce, Beckett, Yeats. Twentieth Century Poetry. Contemporary Irish poetry; Kinsella, Heaney, Muldoon etc. Film Studies.
眞 野 泰	教 授	英小説	特に現代イギリスの小説と文化
吉 野 由 利	教 授	18・19 世紀イギリスとアイルランドの文学	ロマン派期の小説（特に national tale）。児童文学。
中 野 春 夫 (兼 任)	教 授	ルネサンス期英文学・劇	ルネサンス期及び近代初期のイギリス演劇とその文化的・社会的背景
今 野 弘 章	教 授	英語学、言語学、語用論	日英語の周辺の現象、統語論と語用論のインターフェイス、言語と類像性と有標性

※兼任教員も指導教授とすることができる。

※◎の付してある教員は、2026 年 3 月退職予定です。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
◆英米語学特殊研究	英語の文法化の理論的及び実証的考察	4	通年	保 坂 道 雄 講 師	
作家作品特殊研究	現代英国の短篇精読	4	通年	眞 野 泰 教 授	
英米語学演習	項構造から構文文法、そしてコンテキスト	4	通年	平 田 一 郎 教 授	
英米語学演習		4	通年	今 野 弘 章 教 授	
英米語学演習		4	通年	L. 大 橋 教 授	
英米語学演習	World Englishes	4	通年	富 田 祐 一 教 授	
英米文学演習	シェイクスピア劇講読	4	通年	中 野 春 夫 教 授	
◆英米文学演習	世紀転換期のアメリカ小説	4	通年	新 井 景 子 教 授	
◆英米文学演習	Poetry in Ireland	4	通年	A. Fitzsimons 教 授	
◆英米文学演習	Uncle Tom's Cabin とアメリカの人種、性、階級差別	4	通年	田 辺 千 景 教 授	
◆英米文学演習	ロマン派およびヴィクトリア朝の英詩	4	通年	田 代 尚 路 講 師	
◆英米文学演習	20 世紀アメリカ小説精読	4	通年	桐 山 大 介 准教授	
英米文学演習	James Baldwin 研究	4	通年	上 岡 伸 雄 教 授	
博士論文指導		2	集中(通年)	平 田 一 郎 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

Ⅵ ドイツ語ドイツ文学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
伊 藤 白	教 授	現代ドイツ文学	「イメージ」とは常に作られたものであるという意識のもと、ドイツ語圏の文学作品（特にトーマス・マンの文学）やドイツ語で書かれたさまざまな言説を題材に、そこに描かれた「他者」（ジェンダー的・宗教的・民族的・政治的・文化的他者等）のイメージを研究しています。また、その他者像の理解を助けるものとして、日独の経済、社会、政治的背景の比較にも取り組んでいます。
犬 飼 彩 乃	准教授	現代ドイツ文学、翻訳論、フィクション論	今世紀の文芸作品を中心に、虚構と事実の混淆について研究しています。近年ではメディアの発達により虚実の境界がますますわかりにくくなり、情報の受け手もリテラシーを求められる場面が増えてきました。虚構の専門家である作家たちの創作のみならず、ドイツ語圏では批判的に見られてきた社会における虚構の濫用や、事実とは何かといった哲学的観点をもあわせめることで、虚構の構造的特徴を考察しています。
小 林 和貴子	教 授	現代ドイツ文学、聴覚芸術、メディア論	オーディオドラマを中心とした聴覚・音響芸術をメディア文化史の観点から研究しています。具体的にはメディアとテキストの関係、メディアによる知覚の変容などの問題を扱っています。また、ある文化における文学的テキストの生成メカニズムにも関心があり、物語、ジャンル、サブカルチャーなどをキーワードに文化研究を行っています。
清 野 智 昭	教 授	ドイツ語学、コーパス言語学、応用言語学	現代ドイツ語の構文とその意味特性について研究しています。特に、有生性が構文に与える特性が関与する構文、具体的には、身体部位への働きかけを表す構文、無生物主語構文、心理動詞構文に興味を持っており、ドイツ語コーパスを使って分析しています。また、効果的な外国語（特にドイツ語）の学習法と教授法にも関心を持っています。
田 中 雅 敏	教 授	ドイツ語学、理論言語学、社会言語学	ドイツ語の文法理論、とりわけドイツ語（ゲルマン語）の枠構造に関連する研究、語順研究などを行っています。具体的には、定動詞位置、主文・副文構造、かきまぜ、話題化などです。近年は、形態統語論のテーマ（名詞の複数形の形態、冠詞や形容詞のシグナル語尾）や、キーツドイツ語、若者言葉などのドイツ語の変異（社会言語学）にも取り組んでいます。
田 丸 理 砂 (兼 任)	教 授	ドイツ語圏文学、ジェンダー論	社会の民主化及び大衆化がジェンダーと表現にどのような影響を与えたかに注目して研究を進めています。具体的には1920年代から1930年代にかけて世界各地で同時多発的に起きたモダンガール現象と、当時さまざまな芸術分野で活躍した女性アーティスト（文学、写真、建築など）との係わりについて取り組んできました。現在は彼女たちのその後の作品や活動にも研究を広げています。また現代文学にもアンテナを張ろうと心がけています。
トーマス・ペーカー	教 授	ドイツ語圏文学、文化論	近代文学、亡命移民文学、文献学、文化学などです。例えば、19～20世紀のドイツや欧州において日本文化がどのように受容されていたかや、ナチス時代に欧州からアジアを経由して米国等へ移住した人々がアジア特に日本文化をどのように理解し、その後の作品にどう影響したかという研究です。ブレヒト、ユンガー、ムーゼル、ニーチェ、カフカなどが対象です。また、最近では現代を対象としたインターカルチュラル研究（文化交流やトランスカルチュラル研究を含む）に取り組んでいます。

※兼任教員も指導教授とすることができます。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単 位	開講期間	担 当 者	備 考
博士論文指導		2	集中(通年)	小 林 和貴子 教 授	
修士論文指導		2	集中(通年)	小 林 和貴子 教 授	
◆ドイツ語学特殊研究 (1)		2	第1学期	MEYER, Thomas 講 師	
◆ドイツ語学特殊研究 (2)		2	第2学期	MEYER, Thomas 講 師	
◆ドイツ語学特殊研究 (3)	中世ドイツ語学・文学入門	2	第1学期	平 井 敏 雄 講 師	
◆ドイツ語学特殊研究 (4)	中世ドイツ語学・文学入門	2	第2学期	平 井 敏 雄 講 師	
◆ドイツ文学特殊研究 (1)	Fontanes Roman Effi Briest	2	第1学期	PEKAR, Thomas 教 授	
◆ドイツ文学特殊研究 (2)	Fontanes Roman Effi Briest	2	第2学期	PEKAR, Thomas 教 授	
ドイツ語学演習 (1)	統語論と意味論のインターフェイス	2	第1学期	田 中 雅 敏 教 授	
ドイツ語学演習 (2)	統語論と意味論のインターフェイス	2	第2学期	田 中 雅 敏 教 授	
ドイツ語学演習 (3)	ドイツ語構文文法 (1)	2	第1学期	清 野 智 昭 教 授	
ドイツ語学演習 (4)	ドイツ語構文文法 (2)	2	第2学期	清 野 智 昭 教 授	
ドイツ文学演習 (1)	日本を描く現代ドイツ文学	2	第1学期	伊 藤 白 教 授	
ドイツ文学演習 (2)	ナチス時代を描く現代ドイツ文学	2	第2学期	伊 藤 白 教 授	
ドイツ文学演習 (3)	ベッティーナ・フォン・アルニムの世界	2	第1学期	小 林 和貴子 教 授	
ドイツ文学演習 (4)	ベッティーナ・フォン・アルニムの世界	2	第2学期	小 林 和貴子 教 授	
◆ドイツ文学演習 (5)	ヴァイマル共和国時代の小説を読む	2	第1学期	田 丸 理 砂 教 授	
◆ドイツ文学演習 (6)	「モノ」に関するエッセイを読む	2	第2学期	田 丸 理 砂 教 授	
ドイツ文学演習 (7)	人工言語を考える (1)	2	第1学期	犬 飼 彩 乃 准 教 授	
ドイツ文学演習 (8)	人工言語を考える (2)	2	第2学期	犬 飼 彩 乃 准 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

VII フランス文学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
大 野 麻 奈 子	教 授	19・20 世紀フランス文学	ヴィクトル・ユゴーとサミュエル・ベケットを中心とした 19・20 世紀の演劇について研究している。
志々見 剛	准教授	16 世紀フランス文学・思想	モンテーニュを中心としたフランス 16 世紀の文学・思想について、特に同時代の歴史叙述や歴史理論との相互的な関係を軸に研究している。
鈴 木 雅 生	教 授	20 世紀フランス文学	ル・クレジオをはじめ、西欧を相対化する視点を持つ近現代のフランス作家を軸に研究している。
須 藤 健 太 郎 (兼 任)	准教授	映画批評、フランス映画史	批評と実作が緊密に結びついたヌーヴェル・ヴァーグを中心に、フランス映画史および映画批評史の研究に取り組んでいる。
田 上 竜 也	教 授	20 世紀フランス文学・思想	ポール・ヴァレリーを中心とする近現代作家の研究。身体論や、文学と建築とのかかわりについても考究している。
内 藤 真 奈	准教授	20 世紀フランス文学、写真論、病気 表象	エルヴェ・ギベールを中心とした 20 世紀の小説、写真などの視覚的イメージとテキストの関係、及び文学作品における病気表象について研究している。
ティエリ・マレ	教 授	フランス演劇、ルネサンス文学、詩法、 翻訳論	話し言葉と書き言葉の相互関係を具体的に分析して、文学的言説の特徴、役割、目的の（仮の）定義をめざす。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
フランス語学特殊研究	フランス語の歴史的理解	4	通年	松 村 剛 講 師	
◆フランス文学特殊研究	ル・クレジオ研究	4	通年	鈴 木 雅 生 教 授	
◆フランス語学演習	Production écrite	4	通年	A. ド リ ブ ル 講 師	
◆フランス語学演習	日常言語について考える	4	通年	中 尾 和 美 講 師	
◆フランス文学演習	フランス近代文学読解	4	通年	田 上 竜 也 教 授	
フランス文学演習		4	通年	F. ビ ゼ 講 師	
◆フランス演劇演習	Tragédies bibliques (Suite)	4	通年	ティエリ・マレ 教 授	
修士論文指導（フランス文学専攻）		2	集中（通年）	鈴 木 雅 生 教 授	
博士論文指導（フランス文学専攻）		2	集中（通年）	鈴 木 雅 生 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

VIII 心理学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
伊 藤 忠 弘	教 授	社会心理学・教育心理学	自己評価の維持や高揚など「自己」に関連した動機の研究、及び対人関係が達成動機や社会的動機に及ぼす影響に関心を持っている。
今 井 久 登	教 授	認知心理学・実験心理学・認知科学	人間の記憶、特に潜在記憶（無意識の記憶）に興味があり、潜在記憶と意識的な記憶活動との関係や、潜在記憶と知覚や思考など他の認知活動との相互作用についても研究中。
篠ヶ谷 圭 太	教 授	教育心理学	認知心理学にもとづく効果的な指導法や学習法に関する研究を行いながら、教育現場と協働して実践の開発及び効果検証を行っている。
宮 崎 弦 太	准教授	社会心理学	親しい人間関係を構築・維持する中での心理・行動、また、主観的幸福感を規定する社会心理学的要因について、相手との関係性や社会環境の影響という観点から研究を行っている。
山 本 政 人	教 授	発達心理学	乳幼児期の認知、言語、社会性の発達を中心テーマとし、人間の発達を社会的文脈の中でとらえることを目指している。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
心理学演習 1	大学院生のための教養としての認知科学	4	通年	今 井 久 登 教 授	注 1)
心理学演習 2		4	通年	伊 藤 忠 弘 教 授	
心理学演習 3		4	通年	篠ヶ谷 圭 太 教 授	
心理学演習 4		4	通年	宮 崎 弦 太 准教授	
心理学特別研究 2	発達研究の動向と課題	2	第 2 学期	山 本 政 人 教 授	
心理学特別研究 3	心理発達の機序を理解する	2	第 1 学期	大 山 泰 宏 教 授	
心理学特別研究 5	現代社会心理学の潮流	2	第 1 学期	森 津 太 子 講 師	
心理学特殊研究 6	心理統計学の実践を学ぶ	4	通年	宮 崎 弦 太 准教授	
博士論文指導（心理学専攻）		2		山 本 政 人 教 授	

注 1) 博士前期課程の学生が履修する場合、「心理学特殊研究」の単位となる。

IX 臨床心理学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職 名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
川 寄 克 哲	教 授	臨床心理学・心理療法における関係性及び技法論	心理療法の実践の中から、心理療法というものの「構造」、クライアント―治療者の「関係性」、その中でやりとりされ浮かび上がってくる「イメージ」「言語」に関心を持っている。
北 山 純	教 授	臨床心理学、心理療法、高齢者の心理臨床	心理療法におけるクライアントの語りやイメージに着眼し、その治療機序について研究している。「老い」「死」「宗教性」をめぐる心理臨床にも関心を持ち続けている。
大 山 泰 宏	教 授	心理臨床学、心理療法論、臨床心理学の言説研究	心に関する「臨床学」として、関係性と発達の観点から、様々な臨床実践分野での心理療法について研究と指導をおこなっている。また、臨床心理学の概念や技法の成り立ちを、歴史的・構造的に明らかにし、現代的課題に対応する心理療法の構築を目指している。
吉 川 眞 理	教 授	臨床心理学・心理療法とその習熟過程・心理査定・スクールカウンセリング	心理査定論を中心として心理臨床の質の向上と訓練法に関する研究を行っている。ハンドテストに関する解釈理論及び臨床実践への適用可能性の検討も継続して取り組む。
伊 藤 忠 弘 (兼 任)	教 授	社会心理学・教育心理学	自己評価の維持や高揚など「自己」に関連した動機の研究、及び対人関係が達成動機や社会的動機に及ぼす影響に関心を持っている。
今 井 久 登 (兼 任)	教 授	認知心理学・実験心理学・認知科学	人間の記憶、特に潜在記憶（無意識の記憶）に興味があり、潜在記憶と意識的な記憶活動との関係や、潜在記憶と知覚や思考など他の認知活動との相互作用についても研究中。
篠ヶ谷 圭 太 (兼 任)	教 授	教育心理学	認知心理学にもとづく効果的な指導法や学習法に関する研究を行いながら、教育現場と協働して実践の開発及び効果検証を行っている。
宮 崎 弦 太 (兼 任)	准教授	社会心理学	親しい人間関係を構築・維持する中での心理・行動、また、主観的幸福感を規定する社会心理学的要因について、相手との関係性や社会環境の影響という観点から研究を行っている。
山 本 政 人 (兼 任)	教 授	発達心理学	乳幼児期の認知、言語、社会性の発達を中心テーマとし、人間の発達を社会的文脈の中でとらえることを目指している。

※兼任教員は指導教授として希望することはできない。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
臨床心理学特論	ロールシャッハテストの力動的解釈を中心に	4	通年	北川 山 純 教 授	注1) 注2)
臨床心理面接特論		4	通年	川 寄 克 哲 教 授	
臨床心理査定演習Ⅰ （心理的アセスメントに関する理論と実践）		2	第1学期	吉 川 眞 理 教 授	
臨床心理査定演習Ⅱ		2	第2学期	吉 川 眞 理 教 授	
心理療法技法論 （心理支援に関する理論と実践）		2	第1学期	大 山 泰 宏 教 授	
精神医学特論Ⅰ （保健医療分野に関する理論と支援の展開）		2	第2学期	林 公 輔 講 師	
精神医学特論Ⅱ		2	第1学期	林 公 輔 講 師	
投影法特論		2	第1学期	小 嶋 嘉 孝 講 師	
心の健康教育特論 （心の健康教育に関する理論と実践）		2	第1学期	小 嶋 嘉 孝 講 師	
心理療法特論Ⅱ		2	第1学期	金 中 島 吉 晴 講 師	
障害者（児）心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	個人心理療法の設定外にある心理療法を 考える	2	第2学期	中 島 由 宇 講 師	
家族心理学特論 （家族関係・集団・地域社会における心理支援 に関する理論と実践）		2	第1学期	青 木 紀久代 講 師	
老年心理学特論 （福祉分野に関する理論と支援の展開）	初期認知症の理解を中心に	2	第2学期	越 部 裕 子 講 師	
心理学研究法特論Ⅰ	量的研究を読み解き、自ら研究をデザインし ていく人のために	2	第1学期	綾 城 初 穂 講 師	
心理学研究法特論Ⅱ		2	第1学期	高 橋 翠 講 師	
犯罪心理学特論 （司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	大学院生のための教養としての認知科学 親密関係に関する社会心理学研究	2	集中（通年）	吉 村 雅 世 講 師	
産業・労働心理支援特論 （産業・労働分野に関する理論と支援の展開）		2	第1学期	馬 場 洋 介 講 師	
学校臨床心理学特論 （教育分野に関する理論と支援の展開）	発達研究の動向と課題 心理発達の機序を理解する	2	第2学期	伊 藤 亜矢子 講 師	
認知心理学特論Ⅰ		4	通年	今 井 久 登 教 授	
社会心理学特論Ⅰ		4	通年	宮 崎 弦 太 准 教 授	
社会心理学特論Ⅱ		4	通年	伊 藤 忠 太 准 教 授	
教育心理学特論Ⅰ		4	通年	篠ヶ谷 本 太 人 教 授	
発達心理学特論Ⅰ		2	第2学期	山 本 主 政 教 授	
発達心理学特論Ⅱ	インテンシブなスーパーヴィジョンによる 事例担当実習	2	第1学期	大 山 宏 教 授	
臨床心理基礎実習		2	通年	北 山 純 教 授	
臨床心理実習Ⅰ （心理実践実習Ⅱ）		1	通年	大 江 野 宏 教 授	
臨床心理実習Ⅱ		1	集中（通年）	吉 川 眞 理 教 授	
心理実践実習Ⅰ		1	集中（通年）	川 寄 克 哲 教 授	
				北 山 泰 宏 教 授	
				大 江 野 宏 教 授	
				川 寄 克 哲 教 授	
臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅰ 臨床心理学演習Ⅱ 臨床心理学演習Ⅴ	心理臨床の深化と研究	2	通年	吉 川 眞 理 教 授	
		2	通年	川 寄 克 哲 教 授	
		2	通年	北 山 泰 宏 教 授	
		2	通年	大 山 宏 教 授	
		2	第1学期	金 古 泰 宏 講 師	
		4	通年	川 寄 克 哲 教 授	
臨床心理学特別研究Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅲ	ロールシャッハテストの力動的解釈を中心に	2	第1学期	北 山 眞 理 教 授	
2		第1学期	小 嶋 嘉 孝 講 師		

注 1) 「臨床心理基礎実習」は重複して履修することはできない。また通年毎週2時限設定で2単位である。

注 2) 「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）」は重複して履修することはできない。また通年毎週2時限設定で1単位である。

X 教育学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職名	研究分野・研究主題	研究の特徴・重点など
秋 田 喜代美	教 授	学校教育学、授業研究、カリキュラム研究	学校や園でのこどもと教師の学びと発達過程に関する研究をしている。
飯 沼 慶 一	教 授	環境教育、生活科教育、理科教育	自然と子どもとのかかわりに視点をのいた環境教育に取り組んでいる。
伊 藤 亜矢子	教 授	学校臨床心理学	スクールカウンセリング、学級風土アセスメントによるコンサルテーション、など校内での心理支援について研究している。
岩 崎 淳	教 授	国語教育	学校教育における国語科の学習指導に重点をおいている。
梅 野 正 信 [◎]	教 授	社会科・公民科教育、人権教育	いじめ問題、ハンセン病問題、東アジア関係等、社会的課題の教材授業研究、実践史研究に取り組んでいる。
黒 川 雅 子	教 授	学校教育学、教育法規	学校観の変容を踏まえ、学校教育の在り方について、スクール・コンプライアンスの視点から研究している。
佐 藤 陽 治	教 授	体育教育、野外教育、保健教育	運動生理学を中心としたスポーツ科学、健康などの科学的分析。野外教育活動の意義。
嶋 田 由 美 [◎]	教 授	音楽教育、音楽教育史研究	教材に焦点をあてた音楽教育史研究、及び日本人のリズム変容に関する研究を推進している。
須 田 将 司	教 授	教育史、教育会史、地域と学校の関係史	特に 1930-60 年代を中心に、恐慌、戦時、復興から高度成長へ至る激動期における学校と教員の役割や模索の実態解明を行っています。
小 原 豊	教 授	算数・数学教育、情報教育	数学教育を中心として、STEM 教材開発や事例研究に取り組みつその特性を解明している。
宮 盛 邦 友	准教授	教育学、臨床教育学、教育法学	現代教育における子どもの権利と学校の公共性に関する教育法哲学的研究に取り組んでいる。

※◎の付してある教員は、2026 年 3 月退職予定です。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備考
修士論文指導（教育学専攻）		2	集中（通年）	飯 沼 慶 一 教 授 秋 田 喜 代 美 教 授 嶋 田 美 淳 教 授 岩 崎 将 司 教 授 須 田 正 信 教 授 梅 野 豊 子 教 授 小 原 雅 友 准 教 授 黒 宮 盛 邦 矢 教 授 伊 藤 須 田 虹 教 授	
教育史概説（大学院 M）		2	第 1 学期		
教育史特殊研究 I（大学院 M）		2	集中（第 1 学期）	陳 虹	非常勤講師
教育史事例研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	須 田 将 司	教授
特別支援教育概説（大学院 M）		2	第 1 学期	伊 藤 亜 矢	教授
特別支援教育特殊研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	河 合 隆 平	非常勤講師
特別支援教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	伊 藤 亜 矢	教授
教師教育概説（大学院 M）		2	第 1 学期	黒 川 雅 子	教授
教師教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	田 中 昌 弥	非常勤講師
教師教育特殊研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	黒 川 雅 邦	教授
教育行政概説（大学院 M）		2	第 2 学期	宮 盛 邦 友	准 教 授
教育行政特殊研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	宮 盛 邦 友	准 教 授
教育行政事例研究 I（大学院 M）		2	集中（第 2 学期）	佐 藤 晋 平	非常勤講師
授業研究概説（大学院 M）		2	第 1 学期	秋 田 喜 代 美	教授
授業研究特殊研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	秋 田 喜 代 美	教授
授業研究事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	藤 江 康 彦	非常勤講師
音楽教育概説（大学院 M）		2	第 2 学期	嶋 田 由 美	教授
音楽教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	嶋 田 由 美	教授
国語教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	岩 崎 淳	教授
国語教育特殊研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	岩 崎 淳	教授
算数と ICT 概説（大学院 M）		2	第 1 学期	小 原 豊	教授
算数と ICT 特殊研究 I（大学院 M）		2	集中（第 2 学期）	北 島 茂 樹	非常勤講師
英語教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	渡 邊 万 里	非常勤講師
社会科教育事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	梅 野 信 信	教授
社会科教育特殊研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	梅 野 正 信	教授
体育と健康・スポーツ科学事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	沼 澤 秀 雄	非常勤講師
理科と環境特殊研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	日 置 光 久	非常勤講師
家庭科と食育事例研究 I（大学院 M）		2	第 1 学期	南 道 子	非常勤講師
生活科と総合学習概説（大学院 M）		2	第 1 学期	飯 沼 慶 一	教授
総合学習特殊研究 I（大学院 M）		2	第 2 学期	飯 沼 慶 一	教授
教育学特別演習 I（大学院 M）		2	集中（第 1 学期）	佐 藤 将 之	非常勤講師
教育学特別研究 I（大学院 M）		2	集中（通年）	秋 田 喜 代 美	教授
博士論文指導（教育学専攻）		2	集中（通年）	小 宮 盛 邦 友 准 教 授 秋 田 喜 代 美 教 授 梅 野 正 信 教 授 嶋 田 将 司 教 授 須 田 藤 亜 矢 教 授 伊 藤 須 田 虹 教 授	
教育史事例研究 II（大学院 D）		2	第 1 学期		
授業研究特殊研究 II（大学院 D）		2	第 2 学期	秋 田 喜 代 美	教授
社会科教育事例研究 II（大学院 D）		2	第 1 学期	梅 野 正 信	教授
音楽教育特殊研究 II（大学院 D）		2	第 1 学期	嶋 田 由 美	教授
特別支援教育特殊研究 II（大学院 D）		2	第 2 学期	藤 伊 亜 矢	教授
国語教育特殊研究 II（大学院 D）		2	第 1 学期	岩 崎 淳	教授

XI アーカイブズ学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
久保山 哲 二	教 授	情報科学、計算アーカイブズ学	大量の電子資料の保存・組織化・検索・展示に情報科学の知見（機械学習、ビッグデータ分析等）を取り入れ、アーキビストを支援するための新しい方法論を開拓する。
下 重 直 樹	教 授	アーカイブズ学、記録・アーカイブズ研究	記録・アーカイブズ研究を軸として、中長期的な制度設計と改善策を展望する観点から、日本を中心とした記録管理システムの史的経緯も視野に制度研究を進めている。
武 内 房 司	教 授	記録・アーカイブズ研究	中国・ヴェトナムを中心とした東アジア・東南アジア世界における記録システムの研究や、とくに中国の国家・社会集団の残した記録史料群の構造を研究する。
千 葉 功	教 授	記録・アーカイブズ研究	日本の近代における組織の構造と機能を、記録作成システムの分析から研究する。とくに近代の記録史料群の特徴をアーカイブズ学的に検討する。
保 坂 裕 興	教 授	アーカイブズ学、アーキビスト教育論	公文書館や企業アーカイブズにおける専門職教育、また基盤となる理論・標準・倫理について国際的観点から検討している。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
アーカイブズ学概論Ⅰ	現代アーカイブズ制度とその機能	4	通年	坂 口 貴 弘 講 師	
アーカイブズ学概論Ⅱ	現代アーカイブズの構築と実施	4	通年	下 重 直 樹 教 授	
アーカイブズ学理論研究Ⅰ	記録管理、アーカイブズ、アーキビストの歴史 (1)	2	第1学期	青 木 祐 一 講 師	
アーカイブズ学理論研究Ⅰ	記録管理、アーカイブズ、アーキビストの歴史 (2)	2	第2学期	青 木 祐 一 講 師	
アーカイブズ学理論研究Ⅱ	海外基本文献講読（基礎）	2	第1学期	大 木 悠 佑 助 教	
アーカイブズ学理論研究Ⅱ	海外基本文献講読（応用）	2	休講		
記録アーカイブズ研究Ⅰ	前近代の組織と記録	2	第2学期	{ 小宮山 敏 和 講 師	
◆記録アーカイブズ研究Ⅱ	近現代日本の公文書管理制度成立史	2	第1学期	長 坂 良 宏 講 師	
◆記録アーカイブズ研究Ⅱ	現代日本の組織と記録	2	第2学期	千 葉 功 教 授	
◆記録アーカイブズ研究Ⅱ	東アジアにおける記録の歴史と現在	2	第1学期	日 向 玲 理 講 師	
アーカイブズ管理研究Ⅰ	記録管理法制論	2	第1学期	武 内 房 司 教 授	
アーカイブズ管理研究Ⅰ	記録管理法制論	2	第2学期	早 川 和 宏 講 師	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	評価選別の理論と実践	4	通年	早 川 和 宏 講 師	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	現代の組織とレコードキーピング活動	2	第2学期	大 木 悠 佑 助 教	
アーカイブズ管理研究Ⅱ	レコード・マネジメント論	2	第2学期	下 重 直 樹 教 授	
アーカイブズ管理研究Ⅲ	記録アーカイブズ保存と修復（基礎）	2	第1学期	浅 岡 井 良 亮 講 師	
アーカイブズ管理研究Ⅲ	記録アーカイブズ保存と修復（応用）	2	第2学期	岡 西 涼 太 講 師	
アーカイブズ管理研究Ⅳ	アーカイブズの編成と記述	4	通年	柏 原 洋 幸 講 師	
デジタルアーカイブズⅡ	サービスの構築と提供	2	第1学期	島 田 上 大 輔 講 師	
デジタルアーカイブズ演習	図書館情報サービスの歴史と理論	4	通年	村 古 賀 崇 講 師	
情報資源論Ⅰ	ミュージアム・アーカイブズ入門	2	休講	青 木 睦 講 師	
情報資源論Ⅱ	アーカイブズ学研究法	2	休講	青 木 睦 講 師	
アーカイブズ学演習	アーカイブズ学研究法	4	通年	石 原 香 絵 講 師	
アーカイブズ学演習	アーカイブズ学研究法	4	通年	加 藤 聖 文 講 師	
アーカイブズ実習	実地経験による理解と発見	4	通年	塩 崎 亮 講 師	
アーカイブズ実習	実地経験による理解と発見	4	通年	嘉 村 哲 郎 講 師	
博士論文指導（アーカイブズ学専攻）		2	通年	篠 原 敏 也 講 師	
				吉 田 敏 也 講 師	
				久保山 哲 二 教 授	
				坂 口 貴 弘 講 師	
				下 重 直 樹 教 授	
				坂 口 貴 弘 講 師	
				下 重 直 樹 教 授	
				武 内 房 司 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

XII 身体表象文化学専攻

1. 専任教員及び研究分野

氏 名	職名	専門分野・研究主題	研究の特徴・重点など
佐々木 果	教授	マンガ・アニメーション芸術	「マンガ・アニメーション芸術批評研究／芸術文化論演習 A」を担当。マンガやアニメーション及びその関連領域について広く学際的な関心を持って研究しています。マンガの編集者として創作の現場に関わっていた経験から、作品の成り立ちや文化的な問題には関心がありますが、それ以上に歴史研究に力を入れて取り組んできました。マンガやアニメーションなどのメディアを日本だけでなくグローバルな観点から歴史としてとらえ、その上であらためて現代的な問題に切りこんでいきたいと考えています。
須藤 健太郎	准教授	映像芸術	「映像芸術文化論演習 A」を担当。専門は映画批評。フランスのヌーヴェル・ヴァーグを中心に、古今東西あらゆる映画に関心を持つことを心掛けてきました。ヌーヴェル・ヴァーグへの関心はひとまず『評伝ジャン・ユスターシュ』に結実し、時代や地域にこだわらずさまざまな種類の映画について論じた文章は映画批評集『作家主義以後』にまとめました。現在は、「編集（デクパージュ／モンタージュ）」の問題に着目し、映画と諸芸術の関係をめぐる考察を進めています。
田丸 理砂	教授	ジェンダー表象	「ジェンダー文化論」を担当。社会の民主化及び大衆化とジェンダーイメージの関係性に注目して研究を進めています。なかでも世界のグローバル化の先駆けともいえる「モダンガール」現象、そして「少女」「女の子」のイメージに関心をもっています。今日、文化研究にはジェンダーの視点は欠くことはできませんが、ジェンダーとともにセクシュアリティ、階層（格差）、エスニシティなどと組み合わせた交差性も強く意識していきたいと考えています。
中野 春夫	教授	舞台芸術 身体表象文化史	「身体表象文化史」を担当。国際演劇評論家協会、日本英文学会、日本シェイクスピア協会に所属。本専攻では、身体表象に関する歴史的な文化差異を演劇作品や図像、絵画、マンガ、アニメなどから系譜学的、受容史的に分析していきたいと思っています。主要著書は『恋のメランコリー—シェイクスピア喜劇世界のシミュレーション』、『シェイクスピアは彼らの同時代人』（『英語青年』連載論）、『シェイクスピアの英語で学ぶ決め台詞』。
水野 雅司	教授	映像芸術	「映像芸術文化論演習 B」を担当。主に第二次世界大戦期の体験や出来事の影響のなかで創作している作家・芸術家を中心に研究をしています。現在でも戦禍や災害に敏感に反応した作品が生み出されていますが、言語化・物語化しがたい体験や感情を伝達するために芸術家たちがどのような表現形式の探求・創造を試みているのかという観点から、映像芸術における表現の問題について理解を深めていければと考えています。

2. 2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
舞台芸術批評研究	『平家物語』、平知盛をめぐる芸能の系譜	4	通年	原 瑠璃彦 講 師	
映像芸術批評研究 A		4	通年	飯 岡 詩 朗 講 師	
◆映像芸術批評研究 B	メロドラマ論	4	通年	鷺 谷 花 講 師	
◆マンガ・アニメーション芸術批評研究		4	通年	佐々木 果 教 授	
舞台芸術文化論演習 A	Tragédies bibliques (Suite)	4	通年	ティエリ・マレ 教 授	
◆舞台芸術文化論演習 B	歌と踊りのない演劇はなぜヨーロッパで生まれたのか	4	通年	横 山 義 志 講 師	
◆映像芸術文化論演習 A	映画作品分析入門	4	通年	須 藤 健太郎 准教授	
◆映像芸術文化論演習 B	カタストロフィと映像表現	4	通年	水 野 雅 司 教 授	
マンガ・アニメーション芸術文化論演習 A		4	通年	佐々木 果 教 授	
◆マンガ・アニメーション芸術文化論演習 B		4	通年	原 口 正 宏 講 師	
◆ジェンダー文化論演習	近年のジェンダー研究の動向を追う	4	通年	田 丸 理 砂 教 授	
身体表象文化史演習		4	通年	中 野 春 夫 教 授	
◆表象文化制度論演習 A	ドラマの構造分析	4	通年	松 井 憲太郎 講 師	
◆表象文化制度論演習 B	バレエとジェンダー	4	通年	高 橋 由季子 助 教	
修士論文指導（身体表象文化学専攻）		2	集中（通年）	田 丸 理 砂 教 授	
博士論文指導（身体表象文化学専攻）		2	集中（通年）	田 丸 理 砂 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

XIII 各専攻共通

2025 年度講義題目及び担当者

授業科目（講義題目）	副 題	単位	開講期間	担 当 者	備 考
言語学特殊研究（大学院）	認知文法研究	4	通年	西 村 義 樹 講 師	注1)
◆ギリシア・ラテン文学特殊研究	『黄金のロバ』の世界	2	集中(第1学期)	本 間 俊 行 講 師	注1)
◆ギリシア・ラテン文学特殊研究	トロイア伝承と初期ギリシア叙事詩—『イーリアス』を中心に—	2	第1学期	古 澤 香 乃 講 師	注1)
◆上級古典語（古典ギリシア語）	クセノフォン『ソクラテスの思い出』講読	2	第1学期	吉 武 光 雄 講 師	注2)
◆上級古典語（古典ギリシア語）	ギリシア語韻文を読む	2	第2学期	古 澤 香 乃 講 師	注2)
◆上級古典語（ラテン語）	セネカ『摂理について』講読	2	第1学期	田 代 嶺 講 師	注2)
◆上級古典語（ラテン語）		2	第1学期	古 澤 香 乃 講 師	注2)
◆漢語原書講読		4	通年	王 瑞 来 講 師	注2)
比較文学特殊研究（大学院）	「怪談」とその種本	4	通年	南 條 竹 則 講 師	注2)
アカデミック・ライティング（大学院）		4	通年	MCPHALEN, Keith Andrew 講師	注1)
◆国際文化学特殊研究	フェミニズムとジェンダー問題	2	第2学期	田 村 俊 行 講 師	注2)
◆国際文化学特殊研究		2	第1学期	河 内 春 人 講 師	注2)
◆国際文化学特殊研究		2	第2学期	青 木 祐 子 講 師	注2)
教育学演習I	戦後日本の教育学	2	第1学期	宮 盛 邦 友 准教授	注3)
教育学演習II		2	第1学期	伊 藤 亜 矢 子 教 授	注3)
教育特殊研究I	専修免許状取得希望者の特別研究	2	集中(通年)	小 島 和 男 教 授	注3)
教育特殊研究II		2	第2学期	黒 川 雅 子 教 授	

◆印は大学院授業科目であるが、学部生が履修する場合もある。

注1) 複数回履修は不可。

注2) 複数回履修は可。

注3) 教職課程に関する科目であるため、各研究科所定の単位に含むことはできない。

委託生、科目等履修生

- 正規の学生の修学に妨げのない限り、委託生・科目等履修生の入学の制度があります。
- 委託生とは、官公庁、外国政府、その他の機関又は団体の委託に基づき本大学院において修学を許可された学生をいいます。
- 科目等履修生とは、本大学院において1科目又は数科目の修学を許可された学生をいいます。

※本要項に関するお問合せは、下記宛にお願いいたします。

学習院大学アドミッションセンター（西 5 号館 4 階）

〒171-8588 東京都豊島区目白 1－5－1

TEL (03) 5992－1083・(03) 5992－9226

Email adms-enq@gakushuin.ac.jp

窓口受付時間 平 日 9：00～11：30、13：00～16：30

土曜日 9：00～12：00

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>